

令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

種 目	ページ
国 語	1
書 写	9
社 会(地理的分野)	17
社 会(歴史的分野)	25
社 会(公民的分野)	39
地 図	51
数 学	55
理 科	69
音 楽(一般)	79
音 楽(器楽合奏)	83
美 術	87
保健体育	93
技術・家庭(技術分野)	101
技術・家庭(家庭分野)	107
英 語	113
特別の教科道徳	125

那須塩原市・那須町採択地区協議会



令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

国語

那須塩原市・那須町採択地区協議会



教科用図書の記号・番号・名称			種 目	国 語
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
国語701 新しい国語 1	国語801 新しい国語 2	国語901 新しい国語 3	東京書籍株式会社	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容に配慮されているか。	(1)	(1)	
	① 理解力と表現力の育成	① 「読むこと」の領域の学習において、図表の読み取りや文章の読み比べ、主張に対する根拠の吟味などの学習活動を通して、正確に文章を読み解く力や自分の考えを表現する力が育めるよう配慮されている。	① 1年「私のタンポポ研究」 2年「黄金の扇風機」 「サハラ砂漠の茶会」 3年「絶滅の意味」	
	② 伝え合う力の育成	② 各領域の学習に話し合った活動が具体的に盛り込まれていく。また、領域情報を吟味した表現の工夫、ついでに吟味した表現や考えを正確に伝える力が高まるよう配慮されている。	② 1年「話し合いで理解を深めよう」 2年「話し合いで問題を検討しよう」 3年「話し合いで意見をまとめよう」	
	③ 思考力や想像力の育成	③ 説明的な文章の教材では、事実と考察を区別する学習の等組を通すことにより、文章の描き手や登場人物の動きや感情の豊かさを理解し、想像力を育むことができる。	③ 1年「私のタンポポ研究」 2年「走れメロス」 3年「幸福について」	
(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか	(2) 学習の見通しを明確に示され、見通しをもつて学習を進めること、各領域で設定された課題を工夫して取り組むことができるよう工夫されている。	(2) 1年「中心を明確にして話そう『似ている言葉』スピーチ」 2年「説得力のある提案をしよう プレゼンテーション」 3年「場面に応じて話そう 条件スピーチ」		
(3) 読書習慣の形成に配慮されているか。	(3) 本編の「読書への招待」では、戦争や福祉を取り上げた作品の多様なジャンル、また、各単元の最後にも「読書案内」があり、生徒の関心が高められるよう工夫されている。	(3) 1年「図書館で調べよう」 2年「ビブリオバトルをしよう」 3年「読書会を開こう」		
(4) 我が国の言語文化に親しめるよう配慮されているか。	(4) 古典の教材では、作品の背景や関連する人物の関係をイラストや写真を豊富に掲載して古典への興味・関心が高められるよう工夫されている。	(4) 1年「月夜の浜辺」 「伊曾保物語」 2年「落葉松」 「枕草子・徒然草」 「平家物語」 3年「初恋」 「万葉・古今・新古今」 「『おくのほそ道』の旅」		

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・ 文学的な文章では、生徒が自分の経験と照らし合わせて考えることができ、登場人物の心情に寄り添いやすい作品を描く場人上げている。人間ゆり生む作品を配列すことよ育むよう配慮されている。 ・ 福祉や国際理解など現代社会における様々な課題に関する教材が取り上げられ、生徒の興味・関心を高めるとともに、読書案内等に関連した本を紹介しよう配慮されている。	(1) 1年「飛べかもめ」「少年の日の思い出」 2年「卒業ホームラン」 3年「走れメロス」「故郷」  1年「風を受けて走れ」 2年「経節－世界に誇る伝統食」 3年「恩返し井戸を掘る」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。	(2) 巻末基礎編「学びを支える言葉の力」に設けられた力を他教科の学習や実生活に生かすよう配慮されている。	(2) 各学年「学びを支える言葉の力」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 巻末基礎編の「学びを支える言葉の力」が3年間を通して系統性をもつて設定されており、学習内容が領域ごとに把握しやすくなるよう配慮されている。 ・ 「読むこと」の領域の教材で、文章から内容を正確に読み取る力などを身に付け、その力を「書くこと」の領域の学習で生かせるよう配列されている。	(1) 各学年「学びを支える言葉の力」  1年「少年の日の思い出」 「視点を変えて心情を描こう」 2年「走れメロス」 「人物を描写しよう」 3年「絶滅の意味」 「編集して伝えよう『環境』の新聞」
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・ 人権・歴史・自然科学などの様々なテーマを扱った他教科との関連性を図示するよう配慮されている。 ・ 他教科との関連性を示す語句や表が取り上げられるよう配慮されている。	(2) 1年「風を受けて走れ」 (保健体育、道徳) 2年「枕草子」 「徒然草」 「平家物語」 (社会) 3年「絶滅の意味」 (理科)  各学年「他教科で学ぶ漢字」
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。	(1) ・ ユニバーサルデザインに配慮し、紙面の構成が読みやすくなるように配慮されている。 ・ 図表が多く用いられ視覚的に分かりやすくなるように配慮されている。 ・ 1年の初期の教材では、教科書体を用い大きい文字を使用するなど、小中の校種間のギャップを緩和する工夫をしている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・ 各教材で新出する漢字を資料編「新出漢字一覧」としてまとめている。また、教材ごとに一覧のどのページに漢字が掲載されているか明確に示されている。 ・ 脚注で外来語や難解な熟語に関する説明が図版を用いるなどして多く取り上げられている。 ・ 「Dマーク」の表示された単元では、インターネットを通して学習に関連する音声や映像などの資料にアクセスすることができる。QRコードとアドレスが記載されている。	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	国 語
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
国語702 現代の国語1	国語802 現代の国語2	国語902 現代の国語3	株式会社三省堂	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容に配慮されているか。 ① 理解力と表現力の育成	(1) ① 「読み方を学ぼう」では、思考力と表現力を身につけるための方法が、図解(色分け・記号など)されている。さらに「読むこと」の領域では、「学びの道しるべ」の設問があり、読みを深め、自分の考えをまとめる活動を通して、多様な読みや的確な表現をする力を育めるよう工夫されている。	(1) ① 「読み方を学ぼう」の例 1年「説明文の基本構造」 2年「発展的な論の展開」 3年「批判的な読み」	
	② 伝え合う力の育成	② 学年に応じて、他と関わり合いながら考えを深め、伝え合う力を伸ばすことができよう工夫されている。また、「語り活動」を身につけるための学習が設けられ、他の活用・応用ができるよう工夫されている。	② 1年「必要な情報をわかりやすく伝える」を活用して資料や機器を効果的に発表する」 3年「状況に応じて話す力を養う」	
	③ 思考力や想像力の育成	③ 説明的な文章の教材では、主張・事実・理由を区別する学習を通して、論理的に考える。また、文学的な文章の教材では、他者との関係や人間の生き方などを豊かに描いた作品を取り上げ、思いを想像したり共感したりすることができるよう配慮されている。	③ 1年「玄関扉」 2年「走れメロス」 3年「故郷」	
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。	(2) 各学年「読むこと」の領域の教材では、主体的に学習を取り組めるよう、生徒が興味・関心を高め、見通しをもって考え、互いに対話しながら学習を進められる活動が設定されている。また、「振り返りのキーワード」で自分の考えを振り返ることにより学んだことを生活場面につなげられるよう工夫されている。	(2) 1年「空中ブランコ乗りのキキ」 2年「小さな手袋」 3年「フロン規制の物語ー〈紀憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで」	
(3) 読書習慣の形成に配慮されているか。	(3) 作家が語る「私の読書体験」を設け、読書に親しむ習慣が育めるよう配慮されている。また、「読書広場」で様々なジャンルの本の紹介を系統的に配置するなど、主体的な読書へ導くよう工夫されている。	(3) 1年「本を読むことのおもしろさ」 2年「生涯の友と出会う」 3年「谷間の君へ」 各学年共通「小さな図書館」		
(4) 我が国の言語文化に親しめるよう配慮されているか。	(4) 古典のリズムを楽しくんだり、見方や考え方に触れたりできたりする教材が配置されている。また、時代背景や言語文化の理解に資する資料を提示する工夫もされている。また、資料編や我が国の言語文化に親しめるよう古典を紹介している。	(4) 1年「竹取物語」 2年「平家物語」 3年「おくのほそ道」 各学年共通「古典芸能に親しむ」		

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・ 発達の段階に応じて学習が進められることにより、文章を読み解く方法を示すことにより、読みの目的を明確にし、意欲的に取り組めるよう配慮されている。 ・ 人間の生き方や命について深く考えることにより、文学的文章の作品を配列することにより、生徒の興味・関心を高めることと、想像力をよめるよう配慮されている。	(1) 1年「クジラの飲み水」 2年「人間は他の星に住むことができるのか」 3年「間の文化」  1年「竜」、「空中ブランコ乗りのキキ」、「少年の日の思い出」 2年「セミロングホームルーム」、「走れメロス」 3年「握手」、「故郷」、「坊っちゃん」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・ 各教材「読むこと」の教材の最後に学びを広げるよう、発展的な発問が載せられている。 ・ 資料編「学習用語辞典」では、3年間を見通して身に付けさせたい国語科の学習用語を簡潔に解説し、繰り返すよう配慮されている。	(2) 各学年「学びの道しるべ」  各学年「学習用語辞典」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 全学年を通して単元のテーマを8つに統一して教材を配列し、系統的に学びが深められるよう工夫されている。 ・ 巻頭に、「領域別教材一覧・つきたい力を確かめよう」として、「つきたい力」と「言語活動」の関連が明確に示されており、学習目標を把握しやすいよう配慮されている。	(1) ・「豊かに想像にする」 ・「古臭に学ぶ」 ・「わかりやすく伝える」 ・「情報を関係づける」 ・「ものの見方・感性を養う」 ・「読みを深め合う」 ・「論理的に考える」 ・「視野を広げる」  巻頭「領域別教材一覧」
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 情報、自然科学、環境、文化、国際理解等、多岐にわたる題材を扱うことにより、他教科の学習や生徒の日常生活、社会課題に目を向けることができるよう配慮されている。 ・ 日本語と英語の語順の違いなど、英語と比較・関連させることで、言葉の性質や特徴を考察することができるよう工夫されている。	(2) 1年「クジラの飲み水」 (理科) 「活字と手書き文字・画数・筆順」 (美術) 2年「人間は他の星に住むことができるのか」 (理科) 「平家物語」 (社会) 3年「間の文化」 (美術・音楽) 「希望」 (社会・道徳) 「おくのほそ道」 (社会)  2年「文法のまとめ」
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) ・ 写真や絵が効果的に用いられ、生徒の興味・関心を高められるようになっている。 ・ 色の区別、記号などの違いを設け、生徒の興味・関心を高められるようになっている。 ・ 図表が多く用いられ、学習内容が視覚的に分かりやすくなるよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 説明的な文章の教材の前後に設けられた「読み方を学ぼう」では、文章全体を見開き1ページに収めることで、視覚的に論の展開や構造を見通すことができるよう工夫されている。	



令和3年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	国 語
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
国語703 伝え合う言葉 中学国語 1	国語803 伝え合う言葉 中学国語 2	国語903 伝え合う言葉 中学国語 3	教育出版株式会社	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容に配慮されているか。  ① 理解力と表現力の育成  ② 伝え合う力の育成  ③ 思考力や想像力の育成	(1)  ① 文学的な文章の教材では、各学年に応じて人間の生き方について考えさせる教材を取り上げている。人物描写や構成に着目して読むことで、読みを深めたり、自分の考えを表現したりする力が身に付くように工夫されている。  ② 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の教材では、人との関係の中で言葉の担う役割や難しさについて意識しながら言動を表現したり、相手の受け止めや考えを尊重し、自分の考えを適切に表現する力が身に付くよう工夫されている。  ③ 現代社会の多種多様な課題を取り上げた教材を読み、深く考えさせたり、論理的に考えたり、豊かに想像したりする力を育てることができている。	(1)  ① 1年「オツベルと象」 2年「夏の葬列」 3年「私」  ② 1年「随筆を書く」 2年「よりの結論を導く討論をする」 3年「意見を共有しながら話し合う」  ③ 1年「地球から世界へーものづくりで未来を変えるー」 2年「紙の建築」 3年「AIは哲学できるか」	
	(2) 言葉がもつ価値についての理解及び言葉の感覚を豊かにすること	(2) 導入で学習課題が発見しやすいように設定されている。さらには、「話し言葉」「書き言葉」など、対義語・対義語・多義語・同音語など、言葉の働きや生活場面を工夫して、言葉の価値や豊かさを伝える工夫がなされている。	(2) 各学年「言葉の小窓」 1年「方言と共通語」 2年「敬語」 「類義語・対義語・多義語・同音語」 3年「慣用句・ことわざ」	
	(3) 読書習慣の形成に配慮されているか。	(3) 「読書への招待」では、多様なジャンルと日本の近代文学の名作を取り上げられていて、幅広い読書に親しめるよう工夫されている。さらに、各単元で扱っている話や話題に関連する図書を紹介します。生徒の読書への関心が高められるよう工夫されている。	(3) 各学年「広がる本の世界」 1年「ベンチ」、「蜘蛛の糸」 2年「夢を跳ぶ」、「坊っちゃん」 3年「薔薇のボタン」、「最後の一句」	
	(4) 我が国の言語文化に親しめるよう配慮されているか。	(4) ・ 各学年、季節ごとにテーマ別の和歌などが取り上げられている。 ・ 古典教材と関連した作品や、教材とは別の場面が巻末の「言葉の自習室」に収録され、古典に関する興味・関心が高められるよう配慮されている。	(4) 各学年「四季のたより」 各学年「言葉の自習室」	

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・ 教材では、生徒の心に響く作品や、題材が身近な問題として扱われている。生徒が和らぐように配慮している。 ・ 生徒の生活と関わりを深め、興味を喚起する機会を設け、表現の幅を広げようとする。適切な理解を促している。	(1) 1年「ベンチ」「子どもの権利」 2年「夏の葬列」 3年「紙の建築」「語り継ぐもの」  1年「漫画で『物語』を表現する」 2年「映像作品の表現を考へる」 3年「メディア・リテラシーはなぜ必要か？」 「新考える」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・ 「学びの章」に「学びの章」を掲載し、学習の深さを高める。巻末に「言葉の自習室」を設け、多様な学習機会を提供している。	(2) 各学年「学びのチャレンジ」  各学年「言葉の自習室」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 国連のSDGsと関連した話題を7つのカテゴリーに分け、3年間を通して学習させる。巻頭に「言葉の地図」を設け、1年間の学習の振り返りができるようにしている。	(1) ・ 表現/対話/思想 ・ 自然/環境/科学 ・ 人権/多様性/平和 ・ 伝統/文化/歴史 ・ 身体/生命/家族 ・ 近代化/国際社会/共生 ・ 自己/他者/物語  巻頭「言葉の地図」
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 情報、歴史、自然、環境など多岐にわたる題材やSDGsを関連させて学習できるようにしている。	(2) 1年「日本語の音声」(英語) 2年「水の山富士」(社会) 3年「自分の意見を述べよ」(社会)
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。 (2) その他の特徴点は何か。	(1) イラストや図版などは、形やカラーユニバーサルデザインに配慮し、過度な色使いを避け、読みやすくなるよう配慮されている。 (2) ・ 作者や著者について関連資料を掲載したり、巻末「『ふるさと』を巡る」で文学作品ゆかりの地を写真とともに紹介したりするなど、作品が身近に感じられるよう配慮されている。 ・ 二次元コードが設けられ、関連するウェブサイトへアクセスすることができ、利活用できるよう配慮されている。 ・ 一年生の文字を大きくしたり、高校の教科書で多く取り上げられている作家の作品を掲載したりするなど、校種間で学びがつながるよう配慮されている。	

令和3年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種目	国	言語
1年	2年	3年			
国語704 国語1	国語804 国語2	国語904 国語3			光村図書出版会社
大観 点	小観 点	調 査 の 結 果			
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容に配慮されているか。	(1)			
	① 理解力と表現力の育成	① 各学年で取り上げている「読むこと」の領域では、文章構造や論理の展開を理解する学習活動が設けられ、読み取ったことを基に、その後の表現活動に生かすという目的意識を持って読むことができるよう配慮されている。	① 1年「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」 2年「クマゼミ増加の原因探る」 3年「作られた『物語』を超えて」		
	② 伝え合う力の育成	② 「書くこと」・「読むこと」の領域の学習において、考えを深めたり、振り返ったりする際に、伝え合う学習活動が設けられ、伝え合うを高めることができるよう配慮されている。また、「話すこと・聞くこと」の領域の教材では、「対話・質問」の項目が設けられ、相手の考えをきちんと受け取り、自分の考えを伝えることができるよう配慮されている。	② 1年「シンシュン」 2年「魅力」を効果的に伝えよう 3年「誰かの代わりに」		
	③ 思考力や想像力の育成	③ 想像をを広げながら読む力を育むために、登場人物の言動や様子をなぞり、論理的な文章の構成や展開の通しきりを通して、考えを形成するよう配慮されている。	③ 1年「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」 2年「アイスプラネット」 3年「握手」		
(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。	(2) 学習活動の手順が示され、学習の取組や対話の機会を確保し、主体的に考えを深めたり、交流し合ったりするよう配慮されている。	(2) 1年「話題や展開を捉えて話し合おう」 2年「君は『最後の晩餐』を知っているか」 3年「文章の種類を選んで書こう」			
(3) 読書習慣の形成に配慮されているか。	(3) 各学年において、年間2回の読書単元を設け、作品の一部を紹介したり、自分なりの感想を述べたりする工夫がされている。	(3) 1年「本の中の中学生」 2年「翻訳作品を読み比べよう」 3年「『私の一冊』を探しにいこう」			
(4) 我が国の言語文化に親しめるよう配慮されているか。	(4) 古典の作品と現代の作品とを対比し、写真やイラストを用いたり、「広がる読書の世界」を親しめるよう配慮されている。	(4) 1年「蓬萊の玉の枝―『竹取物語』から」 2年「扇の的―『平家物語』から」 3年「夏草―『おくのほそ道』から」			



令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

書 写

那須塩原市・那須町採択地区協議会





大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 発達の段階に応じた学習の場を、基礎的な知識・技能の習得に重点を置き、日常生活や学習活動の中で活用できるように工夫している。	(1) 共通 「生活に広げよう」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。	(2) 各学年の学習内容に応じて、発展的な学習や探究活動を取り入れる。また、学習の成果を展示したり、発表したりする機会を設ける。	(2) 共通 「文字のいずみ」  共通 「書写ブック」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について考慮されているか。	(1) 各単元・単元間の関係性を整理し、学習の進捗や理解の程度に応じて学習内容を調整する。	(1) 共通 「書写の学習の進め方」 五段階の学習過程 「目標」 「見つけよう」 「確かめよう」 「生かそう」 「振り返って話そう」  1年 「点画の連続」 「点画の連続」 「点画の連続」 2年 「点画の連続」 「点画の連続」 「点画の連続」
	(2) 他教科等との関連について考慮されているか。	(2) 国語や算数・理科・社会・英語などとの関連性を重視し、総合的な学習の場を設ける。	(2) 1年 「文字の成り立ちと移り変わり」(社会・歴史等) 2年 「歴史(キャリブ)」  1年 「案内の手紙を書こう」 2年 「本物のポップを書こう」  共通 「書写活用ブック」
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について考慮されているか。	(1) 色やフォントの大きさなど、視覚的な配慮を工夫し、学習のしやすさを高める。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 映像資料「Dマーク」を活用し、学習の理解を深める。また、学習の成果を展示したり、発表したりする機会を設ける。	









大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・硬筆・毛筆の発達の段階と知識の活用。 ・本活字の文化に於ける建築に於ける。	(1) 1年 「筆使いと字形」 2年 「筆順の変化」 3年 「行書との調和」  1・2年 「コラム」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・課題選択、教材の活用。 ・3年生の活用、3年生の活用。	(2) 1年 「学校生活に生かして書く」 2年 「文字の大きさと配列」 3年 「3年間の学習の成果を生かそう」  共通 「補充教材集」 共通 「書式の教室」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・各単元は、四段階の学習過程を示す。 ・行が示す学習の進度。	(1) 共通 「学習の進め方」 四段階の学習過程 「目標」 「考えよう」 「生かそう」 「振り返ろう」  共通 各毛筆で各単元的に 1年 ノートに「さまざな書く場面」 2年 「さまざな表現による文字」 3年 「多様な表現による文字」
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・国語の教科書と、国語の教科書と、国語の教科書と。 ・学習の進度と、学習の進度と。 ・学校行事との関連。	(2) 1年 「竹取物語」 2年 「枕草子」 3年 「平家物語」  1・2年 「学習を生かして書く」 2年 「さまざまな書く場面」 3年 「3年間の学習の成果を生かそう」
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) ・要点を示す際の色の統一など、配色を工夫することで、色覚特性の生徒が判読しやすくなるよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・運筆方法を紹介するための動画「まなびリンク」のウェブサイトを提供、教科書から直接参照できるように工夫されている。 ・A B版サイズにすることで、半紙を意識した文字の書き始めの位置や余白の取り方がイメージしやすいよう配慮されている。 ・巻末資料に、小・中・高の学習する漢字の楷書・行書の手書きによる漢字の楷書・行書の書き方の違いを、生徒が主体的に必要な文字を調べ、活用できるように配慮されている。	





令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 社会（地理的分野）

那須塩原市・那須町採択地区協議会









教科用図書の記号・番号・名称		種目	社会（地理的分野）
1年		2年	3年
地理702 中学社会 地理 地域に学ぶ		教育出版株式会社	
大観点	小観点	調査の結果	
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1)	
	① 我が国の国土及び世界の諸地域の特色を把握し、身に付けること。	① 「世界の諸地域」では国際協力に関すること、「日本の諸地域」では地域課題の解決に関することをそれぞれ主題に置き、身近な題材を例に挙げ学習できるように持続可能な社会を形成する資質や知識を身に付けられるよう配慮されている。 例えば、第7編第2章第2節「中国・四国地方」では、人口分布のかたよりを地域課題として、学習できるように配慮されている。	
	② 多面的・多角的に課題を説明し、養育し、養育する力を育むこと。	② 学習課題に対する「見方・考え方」を示すことにより、生徒が社会的な「見方・考え方」を働かせることができるよう工夫されている。 例えば、第2編第2章第2節「ヨーロッパ州」では、ヨーロッパの統合と地域格差について取り上げ、様々な国の立場から国際協力と課題を見出し、考えられるよう工夫されている。	
③ より野心的な態度で取り組むこと。	③ 第3編第1章「地域調査の方法を学ぼう」で地域調査の方法を学習し、第4章「地域」では、「日本」領域での学習をふまえて、地域課題の解決について生徒の社会参画の視点を取り入れた学習ができるよう配慮されている。		
(2) 主体的・対話的で深い学びが実現できるか。	(2) 毎時設定されている「学習課題」を受けて、単元末の「意見交換会」を行う機会を設けるなど、主体的・対話的で深い学びが実現できるように配慮されている。 例えば、「地理的な見方・考え方」の「一・二・三」の指導することにより、その後の各単元において、「地理的な見方・考え方」が学習できるように配慮されている。		
(3) 本文と資料の関係は適切か。	(3) 写真や地図、グラフなどの資料が掲載されている。本文中には資料番号が掲載されており、本文との関係は適切である。また、生徒の日常生活や経験と関わりが深い身近な写真資料が掲載され、学習意欲が高まるよう配慮されている。		

大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p>	<p>(1)</p> <p>・ 「地理の学習を始めるにあたって」の集める見方・考え方を指導し、興味・関心を喚起し、地理的・社会的・科学的な見方・考え方を身に付けさせる。また、身近な話題を通して、地理的・社会的・科学的な見方・考え方を身に付けさせる。</p> <p>(2)</p> <p>・ 「地理の学習を始めるにあたって」の集める見方・考え方を指導し、興味・関心を喚起し、地理的・社会的・科学的な見方・考え方を身に付けさせる。また、身近な話題を通して、地理的・社会的・科学的な見方・考え方を身に付けさせる。</p>	
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1)</p> <p>・ 「地理の学習を始めるにあたって」の集める見方・考え方を指導し、興味・関心を喚起し、地理的・社会的・科学的な見方・考え方を身に付けさせる。また、身近な話題を通して、地理的・社会的・科学的な見方・考え方を身に付けさせる。</p> <p>(2)</p> <p>・ 「地理の学習を始めるにあたって」の集める見方・考え方を指導し、興味・関心を喚起し、地理的・社会的・科学的な見方・考え方を身に付けさせる。また、身近な話題を通して、地理的・社会的・科学的な見方・考え方を身に付けさせる。</p>	
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1)</p> <p>・ 視力や色覚に留意し、すべての生徒にとって見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく紙面づくりがなされている。文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、白抜き文字や色文字は十分な大きさを確保するなど配慮されている。</p> <p>(2)</p> <p>・ 図版資料は判読しやすいよう配色とともに形や模様、引き出しなどの表示に配慮されている。</p> <p>・ 章・節の扉ページに、発行者が管理する特設のウェブページ二次元コードを掲載し、より効率的な学習のための配慮がされている。</p>	



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。</p>	<p>(1) 本文ページ下段には「小学校・歴史・公民校との関連」が示されている。小・中・高の学習が連続して行われている。また、「世界」の学習が、単に知識の習得だけでなく、地域の特色や文化の理解を通じて行われている。写真やイラストの活用も、学習の興味を高め、理解を深めるのに効果的である。</p> <p>(2) 1時間ごとの学習内容が、単に知識の伝達だけでなく、生徒の主体的な学習を促すように工夫されている。また、学習の進度や内容が、生徒の生活や関心と結びつけられている。写真やイラストの活用も、学習の興味を高め、理解を深めるのに効果的である。</p>	<p>各章の導入部分では、豊富な資料や写真、イラストなどを活用し、生徒の興味を高め、理解を深めるのに効果的である。</p> <p>各地方の特色や文化の理解を通じて行われている。また、学習の進度や内容が、生徒の生活や関心と結びつけられている。写真やイラストの活用も、学習の興味を高め、理解を深めるのに効果的である。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 各章の構成や配列が、学習の進度や内容とよくマッチしている。また、各章の特色や文化の理解を通じて行われている。写真やイラストの活用も、学習の興味を高め、理解を深めるのに効果的である。</p> <p>(2) 「世界」の学習が、単に知識の伝達だけでなく、生徒の主体的な学習を促すように工夫されている。また、学習の進度や内容が、生徒の生活や関心と結びつけられている。写真やイラストの活用も、学習の興味を高め、理解を深めるのに効果的である。</p>	<p>1年生の学習では「どのような特長があるか」という問いかけから始まり、具体的な事例や写真を活用して、生徒の興味を高め、理解を深めるのに効果的である。</p> <p>各単元の「地理プラス」の内容では、他教科との関連性がよく説明されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点はないか。</p>	<p>(1) 文字はユニバーサルデザインに配慮したフォント、ルビも判読しやすいゴシック体を使用している。グラフ・地図等の図版は、カラーユニバーサルデザインに配慮した配色や処理が施されている。また、色覚特性をもつ生徒にも見開きのデザインやグラフ、地図などの資料が活用されている。また、色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用されている。</p> <p>(2) 二次元コードが設けられており、学習を補完するデジタルコンテンツや学習を深めるウェブサイトへのリンクを利用できるような工夫がなされている。教科書の冒頭で世界的な事例が写真で紹介され、地理的事象の関心が深められている。また、各章の特色や文化の理解を通じて行われている。写真やイラストの活用も、学習の興味を高め、理解を深めるのに効果的である。</p>	<p>各単元の「地理プラス」の内容では、他教科との関連性がよく説明されている。</p>

教科用図書の記号・番号・名称			種目	社会（地理的分野）
1年	2年	3年	発行者名	
地理704 中学社会 地理的分野			日本文教出版株式会社	
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <p>① 我が国の国土及び世界の諸地域の特徴を、地理的視点から理解し、身に付けること。</p> <p>② 多面的・多角的に考察し、課題意識を養うこと。</p> <p>③ より主体的に学習すること。</p> <p>(2) 主体的に学習すること。</p> <p>(3) 本文と資料の関係は適切か。</p>	<p>(1)</p> <p>① 「世界の諸地域」では偏りなく、多文化共生社会の重要性を認識する上で、地理的知識の習得が不可欠である。九州地方では、九州地方の工業の発展と環境課題への取り組みが取り上げられている。</p> <p>② 「世界の諸地域」では、偏りなく、多文化共生社会の重要性を認識する上で、地理的知識の習得が不可欠である。九州地方では、九州地方の工業の発展と環境課題への取り組みが取り上げられている。</p> <p>③ 「世界の諸地域」では、偏りなく、多文化共生社会の重要性を認識する上で、地理的知識の習得が不可欠である。九州地方では、九州地方の工業の発展と環境課題への取り組みが取り上げられている。</p> <p>(2) ・「世界の諸地域」では、偏りなく、多文化共生社会の重要性を認識する上で、地理的知識の習得が不可欠である。九州地方では、九州地方の工業の発展と環境課題への取り組みが取り上げられている。</p> <p>(3) ・地図や写真など世界や日本の地域的特色を捉える資料が掲載されている。本文中には資料番号が挿入されており、本文と資料の関係は適切である。</p>		





令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 社会（歴史的分野）

那須塩原市・那須町採択地区協議会





大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。  (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「歴史の流れのとらえ方」や章扉の年表で、小学校の履修内容を振り返り、学習の導入として取り組みやすく工夫されている。</li> <li>・ 見開きの導入や「資料から発見！」など資料を大きく掲載し、生徒の興味・関心を引き出すよう工夫されている。</li> </ul>	
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。  (2) 他教科等との関連について配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1章に「歴史へ」として、近世・近代・現代の全体像を捉え、各時代の特色を解説している。</li> <li>・ 第2章に「歴史の現場」をテーマとし、歴史の現場を再現し、歴史の現場を体験している。</li> <li>・ 第3章に「歴史の現場」をテーマとし、歴史の現場を再現し、歴史の現場を体験している。</li> </ul>	
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。  (2) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルデザインが使用され、文字の視認性が向上されるよう配慮されている。</li> <li>・ シミュレーションや動画など、学習への興味・関心を高めることができる「Dマーカー」が用いられている。</li> <li>・ 巻末（P.284～）に用語解説を掲載し、生徒が容易に用語について調べられるよう工夫されている。</li> </ul>	











教科用図書の記号・番号・名称			種目	社会（歴史的分野）
1年	2年	3年	発行者名	
歴史708 中学歴史 日本と世界			株式会社 山川出版社	
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された配慮 ① 我が国を流るる歴史の特色を踏まえて、各時代の歴史的事象を、多角的に考察し、その意義を明らかにする。	<p>・ 資料が、各章の初めに、各時代の歴史的事象を、多角的に考察し、その意義を明らかにする。</p> <p>・ 視座を、政治・経済・社会・文化の側面から、多角的に考察し、その意義を明らかにする。</p> <p>・ 現代的な課題を、歴史の文脈の中で考察し、その意義を明らかにする。</p>		
	(2) 主体的・対話的学習の指針を踏まえて、多角的に考察し、その意義を明らかにする。	<p>・ 各章の初めに、各時代の歴史的事象を、多角的に考察し、その意義を明らかにする。</p> <p>・ 視座を、政治・経済・社会・文化の側面から、多角的に考察し、その意義を明らかにする。</p> <p>・ 現代的な課題を、歴史の文脈の中で考察し、その意義を明らかにする。</p>		
	(3) 本文と資料の関係は適切か。	<p>・ 美術作品や資料の図表が豊富に掲載されており、図版や史料には発問や本文と資料の関係が適切に示されている。</p>		





大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。  (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1編「私たちと歴史」で、イラス</li> <li>・ 写真や文庫、文化一私財を、たてを、ちと歴史」で、は、イラス</li> <li>・ 人物に用いたを、ちと歴史」で、は、イラス</li> <li>・ 学習する各章、巻や頭、写真、大判資料を、設ける、おを</li> <li>・ 験、各、画、や、う、工、夫、さ、れ、て、い、る、。</li> </ul>	
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。  (2) 他教科等との関連について配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1編「私たちと歴史」の中で歴史の</li> <li>・ 捉え方を、6編構成、左端に「科連」が</li> <li>・ 教材構成、各時代の注、脚、小、学、の、</li> <li>・ 習、す、た、れ、野、の、</li> <li>・ 野、の、</li> </ul>	
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。  (2) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルデザインが使用され、すべての生徒が読み取りやすいよう配慮されている。</li> <li>・ 振り仮名には大きめのゴシック体を使用し、判読しやすいよう配慮されている。</li> <li>・ グラフ・地図などの図版は、カラーユニバーサルデザインに対応した配慮がされている。</li> <li>・ 色、形、模様、千の種類の、色以外の情報でも識別できるように配慮されている。</li> </ul>	







大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭の「歴史への案内」を、復習し、学校で学んだ人物の歴史を、意欲的に復習し、引き出す。</li> <li>・ 中・高学年の「歴史」を、意欲的に復習し、引き出す。</li> <li>・ 巻頭の「歴史への案内」を、意欲的に復習し、引き出す。</li> </ul>	
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「空欄」を、発展的に学習し、発展的に学習する。</li> <li>・ 「空欄」を、発展的に学習し、発展的に学習する。</li> </ul>	
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原さ成、古、中、世、の、つ、合、</li> <li>・ 原さ成、古、中、世、の、つ、合、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養、表、も、</li> <li>・ 養、表、も、</li> </ul>
	(2) 他教科等との関連について考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別、この、必要、</li> <li>・ 特別、この、必要、</li> </ul>	
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザインの視点について考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図、グラフ、など、</li> <li>・ 地図、グラフ、など、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルデザインに配慮し、色、</li> <li>・ ユニバーサルデザインに配慮し、色、</li> </ul>
	(2) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元、A、内容、色、</li> <li>・ 各単元、A、内容、色、</li> </ul>	



令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 社会（公民的分野）

那須塩原市・那須町採択地区協議会







教科用図書の記号・番号・名称			種目	社会（公民的分野）
1年			2年	3年
公民902 中学社会 公民 ともに生きる			教育出版株式会社	
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1)		
	① 個人の尊厳と人権尊重の観点から、個人の権利と責任の両面を重視し、国際社会における役割を認識し、社会生活に主体的に関与する力を養うこと。	① 第2章2節「憲法が保障する基本的人権」では、個人の尊厳と人権尊重の観点から、個人の権利と責任の両面を重視し、国際社会における役割を認識し、社会生活に主体的に関与する力を養うこと。また、第3章の民主政治、第4章の経済、第5章の国際関係の理解につなげるよう工夫されている。		
	② 多面的・多角的に考察し、課題を明確にし、説き及ぶこと。	② 終章1節①「持続可能な未来と私たち」では、SDGs（持続可能な開発目標）の観点から、地球環境問題の「読んで深く考えよう」コーナーの活用を促している。また、第6章の「公正な社会」の学習を通して、社会正義の観点から、地球環境問題の「読んで深く考えよう」コーナーの活用を促している。		
③ 現代的な課題と。	③ 第1章3節③「地域のルールを考えよう」や第5章1節④「暮らしやすさや、設計の工夫」を設けている。また、「まちづくりのアイディアを競おう」や「貿易がもたらす変化」を設けている。			
(2) 主体的・対話的で深い学びが実現しているか。	(2) 各章の「学習のねらい」の中で、各章ごとに「学習の『見方・考え方』」を提示している。また、1時間単位の学習活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組むよう工夫されている。			
(3) 本文と資料の関係は適切か。	(3) 本文に、資料を豊富に掲載し、深い理解を促すための注釈や、関連資料の紹介を行っている。			

大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。  (2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。	(1) 巻頭には「公民で学ぶ主な内容」と学分連う設学く関し、「公民の学習」など、生徒の興味・関心を引き出すための工夫がなされている。  (2) 各章の終末部に設けられている「学習のまとめと表現」の「STEP1」に、基礎・基本の定着を図られている。さらに「STEP2」の「資料を見ながら、次の問いに答えよう」、「STEP3」の「全体的なまとめ」として、資料を用いた学習活動を行うよう配慮されている。	
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。  (2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(1) 全章が政治・経済・社会・文化の発展を軸として、各章の構成が「見聞・学び・実践」の順で進められている。  (2) 他教科等との関連性を図るために、各章の初めに「関連する教科書」を挙げておき、学習の深め方を示している。	
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。  (2) その他の特徴点は何か。	(1) 視力や色覚に配慮したレイアウトや、文字の大きさや色合いの工夫がなされている。  (2) 扉表や索引に、学習の進め方や、学習の目的・意義を簡潔に示している。	ユニバーサルデザイン化の観点から、見出しや図表の配置に配慮している。また、学習の進め方や、学習の目的・意義を簡潔に示している。

教科用図書の記号・番号・名称			種目	社会（公民的分野）
1年	2年	3年	発行者名	
公民903 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して			株式会社帝国書院	
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や配慮	(1) ① 尊厳・個性を大切に育て、人権意識の醸成を図る。また、社会生活に必要な知識・技能を身に付け、社会の一員として責任ある行動ができるようになることを目指す。		
	① 個人の認識、社会性、責任感の育成	② 公民の意義や役割、権利と義務のバランス、社会参加の重要性を学ぶ。		
	② 多面的な視点からの理解と実践	③ 現代社会の課題や問題について、主体的に考え、行動する力を養う。		
	(2) 主体的な学習の推進	(2) 「上」の章を振動に		
	(3) 本文と資料の関係は適切か。	(3) 本文の図		

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p>	<p>(1) 各見開きの導入資料は生徒に「各資料は、各生徒に配られる」として、各資料の活用を促している。また、各資料の活用を促している。また、各資料の活用を促している。</p> <p>(2) 習部章と後を見発が</p>	<p>事サもか」に。地れ</p> <p>近載心1前定習るや</p> <p>にの・習がてて学が</p> <p>徒料味た「学」しれ小連</p> <p>生資興ま「開」さは関</p> <p>は各の。る。のを工ジと</p> <p>資い生てにと連う一と</p> <p>入扱、れ部校のよべこ</p> <p>導りしさ入小のとき開ん</p> <p>の取く夫導「小」で見開</p> <p>きをき工の、事が各で</p> <p>見資もよ4部お、るし、</p> <p>例イてらにれ入そ理て</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 「現社」部政治」経済」国</p> <p>際う4に成とれおり、各</p> <p>はさ章にてとれおれ定る。、</p> <p>際」さ章にてとれおれ定る。、</p> <p>際」さ章にてとれおれ定る。、</p> <p>際」さ章にてとれおれ定る。、</p>	<p>にのをれ、先習人時中ヤ</p> <p>「法例」を「学年、キ</p> <p>「法例」を「学年、キ</p> <p>「法例」を「学年、キ</p> <p>「法例」を「学年、キ</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) 本デフ文ヤ図版など</p> <p>ルデフ文ヤ図版など</p> <p>ルデフ文ヤ図版など</p> <p>ルデフ文ヤ図版など</p>	<p>サグが紙ら</p> <p>バや、模、が</p> <p>ニや、らし</p> <p>ユイ色さ認</p> <p>るザい。確</p> <p>きデする。を</p> <p>でのやいけ</p> <p>がきしてづ</p> <p>と開別れ置</p> <p>こ見識さ位</p> <p>る、もがる</p> <p>取た徒慮け</p> <p>みま生配お</p> <p>読りもン体</p> <p>きいをイ全</p> <p>って性ザ、</p> <p>はれ特デれ</p> <p>をさ覚ルら</p> <p>字用色サけ</p> <p>文使、一設</p> <p>、がはバが</p> <p>はトにニス</p> <p>でン料ユク</p> <p>どオ資一ッ</p> <p>なフどラデ</p> <p>版なカン</p> <p>図な、イ</p> <p>ヤイ地に</p> <p>文ザ・さ端</p> <p>本デフ文</p>



教科用図書の記号・番号・名称		種目	社会(公民的分野)
1年	2年	3年	発行者名
公民904 中学社会 公民的分野			
大観点	小観点	調査の結果	
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された配 置や内容について。 ① 個人の尊厳を大切にする意識を醸成し、社会の発展に貢献する態度を育てること。 ② 多岐にわたる課題を、総合的に解決し、社会の発展に貢献すること。 ③ 主体的に学習に取り組むこと。</p> <p>(2) 主体的に学習に取り組むこと。</p> <p>(3) 本文と資料の関係は適切か。</p>	<p>(1) ① 第2編第1章2「日本国憲法と基本的人権」で、主権在民の原則を踏まえて、憲法尊重の原則を踏まえて、個人の自由を保障すること。 ② 第3編第2章4「貿易と税関」で、貿易の重要性を踏まえて、税関の役割を踏まえて、貿易の発展に貢献すること。 ③ 第3編第3章1「現代社会と課題」で、現代社会の課題を踏まえて、課題の解決に取り組むこと。</p> <p>(2) 学習指導要領の目標を踏まえて、本文と資料の関係が適切か。</p> <p>(3) 本文と関係のある写真・グラフ・イラスト・しくみ図等の図版類すべてにわたって、通し番号が付けられているために、本文の学習内容を理解するための配慮がされている。また、資料も新しく適切に配置されている。</p>	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。  (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(1) 第1編「私たちと現代社会」、第2編「私たちの生活と政治」、第3編「私たちの生活と政治」、第4編「私たちの生活と政治」、第5編「私たちの生活と政治」。第2編は「個人と社会」、第2編は「憲法」、第2編は「国民権と日本」、第2章に分けては、構成身近編（章）末の「導入学習」に「公民」を配列している。第3編「消費者の権利」と「労働技術・家庭科」との関連が図られている。「まち」の「参画」の「意識」の「活用」の「指導」の上。 (2) 第3編「消費者の権利」と「労働技術・家庭科」との関連が図られている。「まち」の「参画」の「意識」の「活用」の「指導」の上。	
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。  (2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(1) 第1編「私たちと現代社会」、第2編「私たちの生活と政治」、第3編「私たちの生活と政治」、第4編「私たちの生活と政治」、第5編「私たちの生活と政治」。第2編は「個人と社会」、第2編は「憲法」、第2編は「国民権と日本」、第2章に分けては、構成身近編（章）末の「導入学習」に「公民」を配列している。 (2) 第3編「消費者の権利」と「労働技術・家庭科」との関連が図られている。「まち」の「参画」の「意識」の「活用」の「指導」の上。	
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。  (2) その他の特徴点は何か。	(1) 専門家の校閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるよう配慮されている。カラーフォントを使用している。さらに見開きにはインデックスを付けて、学習している単元を確認できるように配慮されている。 (2) 教科書の終末部に「高校の公民科『公』とのつながり」が設定され、高校進学後、社会科学科の学びを考へる場が設定されている。また、第2編の「まち」が点字加工されており、生徒自身の手で触れて学ぶことができるよう工夫されている。	



大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 第2章の「立憲国家」と「農業者」の歴史を、古くから取り上げ、その発展の過程を、図や表を用いて説明している。	
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。	(2) 各章の終末部に「学習のまとめ」として、重要な語句や表現を整理し、その意味や用法を説明している。	
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について考慮されているか。	(1) 第1章「序論」から第5章「生活」まで、単元的に学習できるように配列されている。	
	(2) 他教科等との関連について考慮されているか。	(2) 社会生活の現場や、労働の現場など、他の教科と関連している内容を、図や表を用いて説明している。	
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について考慮されているか。	(1) 各単元の重要語句は、ゴシック体で示されている。また、ゴシック体にした重要語句は、最後に索引として掲載されている。	
(2) その他の特徴点は何か。	(2) 第2章第2節では、大日本帝国憲法や日本の立憲主義について取り上げるなど、歴史学習との関連が図られている。また、各章の学習においては、単元の学習に関連する人物や事例が取り上げられている。		





令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

地 図

那須塩原市・那須町採択地区協議会







大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p>	<p>(1)・「世界旅行」を主題とした各図を、素材として用いる。写真資料を、各図の裏面に貼る。また、旅行記や写真集などから、旅行の様子や風景などを切り取り、旅行記や写真集などに貼る。また、旅行記や写真集などから、旅行の様子や風景などを切り取り、旅行記や写真集などに貼る。</p> <p>(2)・調べた資料を、各図の裏面に貼る。また、旅行記や写真集などから、旅行の様子や風景などを切り取り、旅行記や写真集などに貼る。</p>	<p>・「世界の観光地」をテーマとした各図を、素材として用いる。写真資料を、各図の裏面に貼る。また、旅行記や写真集などから、旅行の様子や風景などを切り取り、旅行記や写真集などに貼る。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1)・地理的分野の構成に、各図の裏面に貼る。また、旅行記や写真集などから、旅行の様子や風景などを切り取り、旅行記や写真集などに貼る。</p> <p>(2)・歴史分野の構成に、各図の裏面に貼る。また、旅行記や写真集などから、旅行の様子や風景などを切り取り、旅行記や写真集などに貼る。</p>	<p>・1年生の世界史の学習を始める際に、地理分野の学習を始める際の参考として、この資料を用いる。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点はないか。</p>	<p>(1) 全面的にユニバーサルデザインが採用され、色覚特性への配慮が見られる。ユニバーサルデザインに対応したフォントを採用し、読みやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 使用されやすいよう、紙が多めに用いられ、軽くて丈夫な素材が採用されている。また、情報量が豊富で、学習に役立つ内容が盛り込まれている。</p>	<p>・「世界の観光地」をテーマとした各図を、素材として用いる。写真資料を、各図の裏面に貼る。また、旅行記や写真集などから、旅行の様子や風景などを切り取り、旅行記や写真集などに貼る。</p>

教科用図書の記号・番号・名称			種目	社会（地図）
1年	2年	3年	発行者名 帝国書院	
地図702 中学校社会科地図				
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容が考慮されているか。	(1)		
	① 我が国の諸島を、世界の諸島と比べてみる。国土の特色を、世界の国土と比べてみる。国土の特色を、世界の国土と比べてみる。	① ・我が国を世界の諸島と比べてみる。国土の特色を、世界の国土と比べてみる。国土の特色を、世界の国土と比べてみる。 ・我が国を世界の諸島と比べてみる。国土の特色を、世界の国土と比べてみる。国土の特色を、世界の国土と比べてみる。 ・我が国を世界の諸島と比べてみる。国土の特色を、世界の国土と比べてみる。国土の特色を、世界の国土と比べてみる。		
	② 多岐にわたる地理的・社会的課題を、正しく理解し、養	② ・多岐にわたる地理的・社会的課題を、正しく理解し、養 ・多岐にわたる地理的・社会的課題を、正しく理解し、養 ・多岐にわたる地理的・社会的課題を、正しく理解し、養		
③ 視野を拡大し、国際的な視点から、我が国の発展を促す	③ ・視野を拡大し、国際的な視点から、我が国の発展を促す ・視野を拡大し、国際的な視点から、我が国の発展を促す ・視野を拡大し、国際的な視点から、我が国の発展を促す			
(2) 主体的に学習する意欲を高めること	(2) 自然環境、人口、産業、交通の発展が、我が国の発展を促していること			
(3) 本文と資料の関係は適切か。	(3) 内容に即した挿絵や写真、図表、グラフ等が、資料を適切に活用していること			



令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

数 学

那須塩原市・那須町採択地区協議会



			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称			発 行 者 名	
1 年	2 年	3 年	東京書籍株式会社	
数学701 新しい数学1	数学801 新しい数学2	数学901 新しい数学3		
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。			
	① 数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を習得させること	① 概念や原理・法則を使って数学的な処理の仕方が習得できるよう配慮されている。「Q」、「例」、「問」という段階的な学習により、個に応じた指導が効果的に行えるよう工夫されている。	① 3年 (pp.275-281)「学びのつながり」では、3年間の学習内容の單元ごとのまとめを、矢印で確認することができるよう配慮されている。	
	② 問題解決に必要な数学的な思考力・判断力・表現力を育成すること	② 多様な解決方法や表現方法を用いて説明する活動が設けられており、筋道を立てて考え、表現する力が身に付くよう工夫されている。「学びを振り返ろう」では、既習内容の数や図形の性質を振り返り、問題解決を統合的・発展的に考えられるよう配慮されている。	② 2年 (pp.193-198)「深い学びをふり返ろう」では、多様な考え方を想起させて問題解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力を育めるよう工夫されている。	
	③ 数学で学んだことを生活や学習に活用すること	③ 実社会の問題に興味をもって考えていけるよう工夫されている。「学びをひろげよう」では、データを活用し、図や表を使って考えるよさを実感できるよう工夫されている。	③ 3年 (pp.122-123)「渋滞学を学んでみよう」では、車の流れをモデル化することで、渋滞を解消する方法を考えることができるよう配慮されている。	
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。	(2) 巻頭 (pp.6-7)「大切にしたい数学の学び方」が設置され、主体的・対話的で深い学びの手助けとなるよう工夫されている。また、各章の導入では身近な場面を簡潔な問いで提示することで、生徒の関心・意欲を高め、主体的な学びにつながるよう工夫されている。	(2) 1年 (pp.145-146)「比例と反比例の利用」では学びの手順を可視化することで、対話的な学習につながるよう工夫されている。	
	(3) 図、表、式、グラフ、挿絵などは、ねらいの達成に適切か。	(3) 大きな表や座標平面が見やすく、直接記入して作業がしやすいよう配置に工夫がみられる。また、「Dコンテンツ」というデジタルコンテンツが用意されており、QRコードを使って利用することができるようになっている。	(3) 1年 (pp.167-174)「基本の作図」では、ページ右上部分を折って点や辺を重ねることで、垂直二等分線や角の二等分線の仕組みについて考えることができるよう工夫されている。	

大観 点	小観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 に つ い て	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 1年では、算数と数学のギャップによる不安を解消し、小中の円滑な接続が図れるよう、発達の段階について配慮されている。また、各章の導入では、日常生活の中の数学的な事象を多く取り上げ、興味・関心を高められるよう工夫されている。	(1) 1年 (pp.9-16)「0章 算数から数学へ」を設定することで、中学校数学の授業開きとして小中接続を意識できるよう工夫されている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 「問」の側注には、補充的な問題に取り組みやすいよう巻末のページが記されている。「章の問題B」の「活用の問題」では、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。	(2) 3年 (pp.201)「どれくらい遠くから見えるかな」では、既習内容を活用し、発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。
3 組 織 ・ 配 列 等 に つ い て	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 各単元の節ごとに導入のページが設けられており、学習のまとめりごとに学習課題と「Q」で始まり、本文からまとめという構成で統一されている。巻末の「学びのつながり」や本文中の「ちょっと確認」「発展」で系統性について確認しやすいよう配慮されている。	(1) 1年 (pp.75)では学習課題と「Q」で始められている。本文中の「発展」で2年生の内容、「ちょっと確認」で1年生の内容を示し、系統性について確認できるよう配慮されている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 教科書全体で他教科との関連を示す教科関連マークが明記されるとともに、デジタルコンテンツにて他教科の教科書紙面へリンクできるよう工夫されている。	(2) 2年 (pp.56)「章の問題B」において、現代課題や日常場面を基にした教科横断的な問題が取り上げられている。
4 上 記 以 外 の 特 徴 点 に つ い て	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 紙面の右側を余白とする側注形式をとっており、「例」や「問」の内容間を1行以上空けるなど、見やすく工夫されている。また、本文や「例」などは、「問」よりも文字の大きさを1ポイント大きくしたり、数式の文字は和文よりも1ポイント大きくしたりするなど、視認性を高めるよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 「数学マイノート」のページでは、ノート例が記載され、授業の振り返りや思考力・表現力を高められるようなノート作りができるよう工夫されている。 巻末「学びのつながり」に、これまで学習した内容がまとめられており、つまづきや学習内容のつながりが確認できるよう工夫されている。	





大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 1年は2、3年よりも大きい文字にし、無理なく小学校と接続できるよう発達の無段階に配慮されている。各章の導入では、身近な題材を扱うことで興味・関心が高まるよう工夫されている。	(1) 1年 (pp.164-165) 「平面図形」の導入では、漫画を例に挙げ、同様な場面を探す問題を設定することで、知的好奇心を引き出すよう工夫されている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 各章の振り返り問題では、補充的な問題と発展的な問題「力をのばそう」に分けられ、段階を踏んで学習できるよう工夫されている。また、巻末には「補充問題」と「総合問題」があり、学習が深められるよう配慮されている。	(2) 3年 (p.92) 「たしかめよう」では、側注に学習内容や頁を明記することで、振り返りながら補充学習ができるよう工夫されている。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 各単元は見開きの導入で始まり、既習内容とのつながりが明記されている。巻末には既習内容のまとめがあり、数学の系統性について確認できるよう配慮されている。	(1) 巻頭「もくじ」では、各章と既習事項のつながりを明記することで、系統性が感じられるよう配慮されている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 他の教科の学習や生活に関連する内容には、教科名などが書かれている。また、「MATHFUL」では様々な話題について掲載し、関連する教科の学習や生活とつながりがわかるよう配慮されている。	(2) 2年 (p.89) 「1次関数の利用」では、「理科」の学習と関連付けている。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 扱う内容がわかりやすいよう「例」や「例題」にはタイトルをつけ、そのタイトルのフォントや色を変えることで、見やすく工夫されている。また、ページ番号は太字にしたり、領域別に色分けされたインデックスと同じ色を背景に使ったり、生徒が区別しやすいよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 各学年の重要な事柄を1、2年は章ごとに、3年は領域ごとにまとめられている。1、2学年のまとめは、切り取ると冊子として活用できるよう工夫されている。「発見!仕事の数学」のページでは、様々な職業や仕事の中で活用されている数学を紹介することで、キャリア教育につながるよう工夫されている。	



大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 各章の「導入」から最後の「深めよう」まで、身近で興味もてる題材が多く取り上げられている。また、「Tea Break」(コラム)なども興味・関心を高められるよう工夫されている。	(1) 2年(pp.40-41)「2章連立方程式」の導入では、遊園地で乗り物に何回乗ったのかを考へるなど、興味・関心を高められるよう工夫されている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 各節に補充問題にあたり、細かいところまで「確かめよう」の意図が「この章で学んだことを活用しよう」として、各章の「まとめ」や「振り返り」などで、学習した内容を振り返り、活用できるように工夫されている。	(2) 3年(pp.266-267)「高校へ」と関連のある中学校の題材を取り上げ、高校数学への興味・関心を高めるよう配慮されている。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 「Q」の「なこ」で構成されている。各章の「なこ」が、前章の「なこ」を振り返り、次の章へとつなぐ役割を果たしている。また、「なこ」の構成が、学習の順序に沿って行われており、学習の進捗に合わせて学習できるように工夫されている。	(1) 2年(pp.14-15)「文字式の対話」では、「Q」の対話から始まり、「次へ！」へと、生徒が主体的に取り組むことができるよう工夫されている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 各学年の「なこ」が、他教科との関連性を高めるよう工夫されている。また、「なこ」の構成が、学習の順序に沿って行われており、学習の進捗に合わせて学習できるように工夫されている。	(2) 1年(pp.264-267)「海面の水」では、「Q」の対話から始まり、「次へ！」へと、生徒が主体的に取り組むことができるよう工夫されている。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 色覚特性やデザインには配慮し、特になんか、仮定は青色、結論は赤色、線は二重線、表は白、裏は黒、というように配慮されている。	(1) 2年「図形の性質の調べ方」では、図形の性質を調べるときに、仮定は二重線、結論は赤色、線は二重線、表は白、裏は黒、というように配慮されている。
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 節末の基礎・基本の確認ページ・箇所が、白紙で裏表紙に印刷されている。また、裏表紙に「確認ページ」として、学習した内容を振り返り、活用できるように工夫されている。	(2) 1年(pp.264-267)「海面の水」では、「Q」の対話から始まり、「次へ！」へと、生徒が主体的に取り組むことができるよう工夫されている。

教科用図書の記号・番号・名称			種目	数	学
1年	2年	3年	発行者名		
数学704 中学数学1	数学804 中学数学2	数学904 中学数学3	教育出版株式会社		
大観 点	小観 点	調査の結果			
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されたか。 ① 数量や図形などの基礎的知識及び技術の習得	① 側注に、既習内容の振り返りや活用を促す工夫が、円滑に学習できるように工夫されている。		① 1年 (pp. 266-274) 「学びのマップ」では、小学校での学習事項が記載されており、直感的に学べるよう配慮されている。	
	② 問題解決の過程を学ばせ、思考力や判断力、表現力などを育成する。	② 用をす学・をるを等や「味容れ図」りの興内らやモが未、習め表メ広巻は既高、学が。で、を「考いう示考。題るでよ提思る。問あとしを、いうにこな用題せて問注るに活課されを側すうをる展さ方、りよとあ発夫えりたるこのに工考たいなだ心らうい用くん関さよ		② 2年 (p. 120) 「図形」は、図形を習得するだけでなく、新しい図形を深く理解し、活用できるように工夫されている。	
	③ 生活や学習の場面で活用できる知識や技能を身に付ける。	③ 各単元が「日常生活の深い理解を促す」ことを目指している。単元が「日常生活の深い理解を促す」ことを目指している。		③ 3年 (p. 169) 「相似」は、図形を用いて、相似の性質を深く理解し、活用できるように工夫されている。	
	(2) 主体的な学習活動を通して、知識や技能を身に付ける。	(2) 「さがる」として学ばせ、深い理解を促す工夫が、円滑に学習できるように工夫されている。		(2) 3年 (pp. 38-39) 「式の計算」は、問題解決を通して、式の性質を深く理解し、活用できるように工夫されている。	
	(3) 図、表、式、グラフの活用を通して、知識や技能を身に付ける。	(3) 図、表、式、グラフの活用を通して、知識や技能を身に付ける。		(3) 2年 (p. 94) 「一次関数」は、グラフを用いて、関数の性質を深く理解し、活用できるように工夫されている。	



			種目	数	学
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名		
1年	2年	3年			
数学705 未来へひろがる数学1	数学805 未来へひろがる数学2	数学905 未来へひろがる数学3	株式会社 振興出版社啓林館		
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果			
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内 容 に つ い て	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <p>① 数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を習得させること</p> <p>② 問題解決に必要な数学的な思考力・判断力・表現力を育成すること</p> <p>③ 数学で学んだことを生活や学習に活用すること</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 図、表、式、グラフ、挿絵などは、ねらいの達成に適切か。</p>	<p>① ノート形式の解答では途中計算式を省略せずに詳しく記載したり、学習内容のポイントを色つきの枠で囲って表示したりすることで、概念や計算法則が理解できるよう配慮されている。</p> <p>② 問題解決の過程を丁寧に扱い、数学的な見方・考え方を働かせて取り組めるよう工夫されている。「説明しよう」、「話しあおう」では、自分の考えを表現する場面が取り上げられている。</p> <p>③ 節の導入には、日常生活での身の回りの題材を取り上げられており、数学が生活や社会の中で有用されていることが実感できるよう工夫されている。</p> <p>(2) 巻頭 (pp. 1-7) 「この本の構成と使い方」に、問いへの考え方や解決する上で大切な力について詳しくまとめられ、深い学びにつながるよう工夫されている。また、各章の利用において、課題を解決する手順を3段階に分け例示することで、主体的・対話的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>(3) 導入では、イラストが豊富で学習に対する興味・関心を引き出す工夫がなされている。また、QRコードを利用したデジタルコンテンツも用意されており、既習事項の振り返りや実験の動画を見たり、問題演習の解答・解説にも役立ったりすることができるよう設定されている。</p>	<p>① 2年 (pp. 76) では、一次関数の表、式、グラフの関係について詳しく取り上げられており、理解しやすくなるよう配慮されている。</p> <p>② 3年 (pp. 188-190) では、富士山の頂上から見わたせる範囲を問題にし、問題解決に必要な思考力を高められるよう配慮されている。</p> <p>③ 1年 (pp. 86-87) では、1日乗り放題のチケットを買う方がよいかを考えさせることにより、既習内容を活用して解決できるよう工夫されている。</p> <p>(2) 2年 (pp. 34) 「連立方程式」では、身近な事象である社会福祉体験の班編成を例に挙げ、生徒に興味・関心をもたせながら考えさせることで、その後の学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(3) 2年 (pp. 178) 「数学ライブラリー」の「箱ひげ図のよさ」では、QRコードから「統計ツール」にアクセスし、資料の値を入力して度数分布表やヒストグラム、四分位数を求めて箱ひげ図を作ることができ、理解を深める工夫がされている。</p>		

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 1年生では、中1ギャップ解消のための「算数のふりかえり」が記載され、発達の段階について配慮されている。	(1) 1年（自分から学ぼう編pp.7-12）「算数をふりかえろう」では、小学校で苦手とする問題で、動物を主人公とした物語の中で楽しみながら確認することができ、理解を深める工夫がされている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 「みんなで学ぼう編」の「数学ライブラリー」や「自分から学ぼう編」の「学びをいかそう」では、補充的な学習と発展的な学習の内容の問題があり、自分から学びを広げられるよう工夫されている。	(2) 2年（pp.134）「数学ライブラリー」では、正三角形の作り方について折り紙を用いて課題があり、図形の性質を理解する課題につながられている。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 授業用の必修部分、自主学习用のオプション部分の2部に構成されている。各単元は、導入ページと節ごとの導入ページが1ページずつ設けられ、本文から章末問題という構成で統一されている。学習内容に関する既習内容は本文中の「ふりかえり」で示し、系統性を確認できるよう配慮されている。	(1) 2年（pp.58-59）一次関数の導入で「ふりかえり」を示し、まとめ部分で1年のとき学んだことや、これから何を学ぶかを明記することで、既習内容を振り返ることができるよう配慮されている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 「数学ライブラリー」には他教科と関連する題材も取り上げられている。また、「自分から学ぼう編」の「学びを生かそう」では社会見学の場面を通して総合的な学びが工夫されている。	(2) 1年（自分から学ぼう編pp.35-38）「緊急地震速報」では、ゆれが到達する時刻を推測することを通して数学を活用する場面が取り上げられている。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 全体的に誰もが判別しやすい落ち着いた配色にしてあり、ページの右側の余白を残し、意味や文節による改行が行われ、読みやすいよう工夫されている。また、2年（p.112, p.136）図形分野では、使用する道具をイラストで提示してあり、学習の準備をサポートするよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 「自分から学ぼう編」では、生徒に自分でやってみたいと思わせたり、机の上に教科書とノートを並べて置きやすしたりするなど、縦開き形式に工夫されている。 章末問題を解いた結果をチェックボックスに記録し、「学びを身につけよう」とともに、「自分から学ぼう編」の「学びのあしあと」に記録を残せるよう工夫されている。	



教科用図書の記号・番号・名称			種目	数	学
1年	2年	3年	発行者名		
数学706 これからの数学1 数学707 これからの数学1探究ノート	数学806 これからの数学2 数学807 これからの数学2探究ノート	数学906 これからの数学3 数学907 これからの数学3探究ノート	数研出版株式会社		
大観点		調査の結果			
小観点		小観点及び内容の全体的なもの			
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <p>① 数量や図形的な基礎的な知識や技能を身につけること。</p> <p>② 問題解決に必要な力を育成すること。</p> <p>③ 数学や科学の学習を通して、生活や社会に活用できるようにすること。</p> <p>(2) 主体的な対話を通して、深い理解を促しているか。</p> <p>(3) 図表、式、グラフ、など適切な挿入がなされているか。</p>	<p>① 着想の視点を、明記するよう心がけ、見通しを立てる。</p> <p>② 課題を自分なりに考えて、授業中に発表し、意見を述べ合っている。</p> <p>③ 学習の振り返りや、学習の成果を振り返っている。</p> <p>(2) 巻末の「おまけ」や「おまけ」の活用が、学習の意欲を高める効果がある。</p> <p>(3) グラフや図表の活用が、学習の理解を深める効果がある。</p>	<p>① 1年(p.14)「この数」の章は、1年生にとって重要な基礎知識を学ばせるのに役立つ。</p> <p>② 3年(p.235)「この数」の章は、3年生にとって重要な基礎知識を学ばせるのに役立つ。</p> <p>③ 3年(p.235)「この数」の章は、3年生にとって重要な基礎知識を学ばせるのに役立つ。</p> <p>(2) 2年(p.163-165)「この数」の章は、2年生にとって重要な基礎知識を学ばせるのに役立つ。</p> <p>(3) 1年(p.163-165)「この数」の章は、1年生にとって重要な基礎知識を学ばせるのに役立つ。</p>		



教科用図書の記号・番号・名称			種目	数	学
1年	2年	3年			
数学708 中学数学1	数学808 中学数学2	数学908 中学数学3			日本文教出版
大観 点	小観 点	調査の結果			
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された学習目標や内容について配慮されているか。 ① 数量や図形的な基礎的技術の習得に必要となる能力を育成するに力をつけること。 ② 問題解決の力を養うこと。 ③ 数学や科学の活用と生活との関わりを学ぶこと。	① 既習事項と関連づけ、基礎的な知識・技能の習得を促す。② 側面から学習の意義を説明し、学習意欲を高める。③ 「数学と生活」の関係を明確にし、数学の活用を促す。		① 1年 (p.82) 「1次式と数乗の乗法」では、側面に既習事項を注記し、計算の工夫を促している。 ② 2年 (pp.86-87) 「2次式と因数分解」では、平方完成の活用を促している。 ③ 1年 (pp.252-253) 「確率の活用」では、確率の問題を身近なものとして取り上げている。	
	(2) 主体的な学習の場を創出し、学習意欲を高めること。① 学習の楽しさを伝えること。② 学習の意義を説明すること。③ 学習の成果を評価すること。	① 既習事項と関連づけ、基礎的な知識・技能の習得を促す。② 側面から学習の意義を説明し、学習意欲を高める。③ 「数学と生活」の関係を明確にし、数学の活用を促す。		① 1年 (p.82) 「1次式と数乗の乗法」では、側面に既習事項を注記し、計算の工夫を促している。 ② 2年 (pp.86-87) 「2次式と因数分解」では、平方完成の活用を促している。 ③ 1年 (pp.252-253) 「確率の活用」では、確率の問題を身近なものとして取り上げている。	
	(3) 図、表、式、グラフ、などを用いて、数学の活用を促すこと。① 図、表、式、グラフの活用を促すこと。② 数学の活用を促すこと。③ 数学の活用を促すこと。	① 既習事項と関連づけ、基礎的な知識・技能の習得を促す。② 側面から学習の意義を説明し、学習意欲を高める。③ 「数学と生活」の関係を明確にし、数学の活用を促す。		① 1年 (p.82) 「1次式と数乗の乗法」では、側面に既習事項を注記し、計算の工夫を促している。 ② 2年 (pp.86-87) 「2次式と因数分解」では、平方完成の活用を促している。 ③ 1年 (pp.252-253) 「確率の活用」では、確率の問題を身近なものとして取り上げている。	

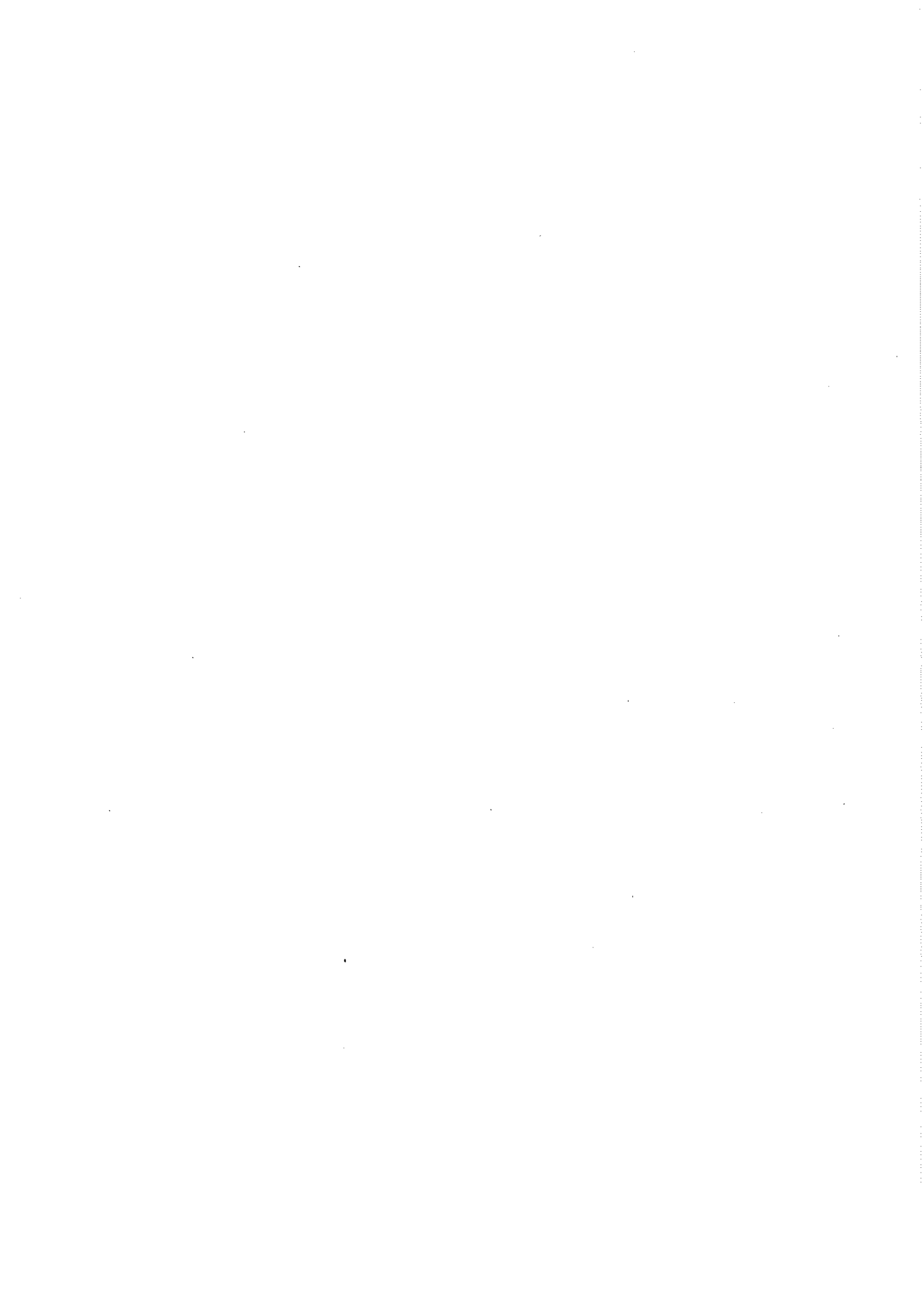
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 各章の導入では、写真やわかりやすい図を示すことで、課題に興味・関心を持たせよう工夫されている。また、「数連した話」が取り上げられている。	(1) 1年 (pp.164-165) 「平面図形」の導入では、日本の伝統的な模様を例に挙げ、図形の移動について考えられている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。	(2) 側注に「チャレンジ」があり、補充的な学習が設けられている。また、各章の最後「発展的な学習」が設けられている。	(2) 3年 (p.153) 「相似な図形の面積比と体積比」の活用で、身の周りの身近な事象と関連付けて考えるよう学習につなげられている。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について考慮されているか。	(1) 各単元は、「次の章を学ぶ前に」として、前項で確認し、後項で確認している。	(1) 3年 (p.121) 「次の章を学ぶ前に」で、前項の確認事項を学習内容に組み立てられている。
	(2) 他教科等との関連について考慮されているか。	(2) 巻末「職業」の図表は、数学と他の教科との関連性を示している。	(2) 2年 (p.200) 「ダイヤグラム」では、列車の運行計画を立てる際に活用されている。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について考慮されているか。	(1) 本文はUDフォント、ルビは大きく見やすいように工夫されている。また、柱状グラフに斜線情報や文字を加えたり、線の色を工夫している。	(1) UDゴシック体を使用し、文柱状グラフに斜線情報や文字を加えたり、線の色を工夫している。
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 巻頭の「この本の使い方」から「ノート」までを参考にする。また、巻末の「この本の使い方」から「ノート」までを参考にする。	(2) 「ノートの工夫」までを参考にする。また、巻末の「この本の使い方」から「ノート」までを参考にする。

令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

理 科

那須塩原市・那須町採択地区協議会



教科用図書の記号・番号・名称			種目	理	科
1年	2年	3年	発行者名		
理科701 新しい科学1	理科801 新しい科学2	理科901 新しい科学3	東京書籍株式会社		
大観点	小観点	調査の結果			
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1)	(1)	(1)	(1)
	① 自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解を図ること ② 科学的に探究する力を養うこと ③ 自然の事物・現象に度々関わり、主体的に探究を進めること	① 科学的に探究する力を養うこと ② 科学的に探究する力を養うこと ③ 科学的に探究する力を養うこと	① 科学的に探究する力を養うこと ② 科学的に探究する力を養うこと ③ 科学的に探究する力を養うこと	① 科学的に探究する力を養うこと ② 科学的に探究する力を養うこと ③ 科学的に探究する力を養うこと	① 科学的に探究する力を養うこと ② 科学的に探究する力を養うこと ③ 科学的に探究する力を養うこと
	(2) 主体的・対話的で深い学びが実現しているか。	(2)	(2)	(2)	(2)

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 単元扉や章扉には、貴重な写真が掲載され、その面白さを伝える工夫がなされている。	(1) 1年「水の結晶」では、水分子の構造や性質について、イラストや写真を用いてわかりやすく説明されている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 「例題」「練習」「確認」が、それぞれ「例題」「練習」「確認」の発展的な学習を促すように工夫されている。	(2) 1年「凸レンズ」では、凸レンズの性質や応用について、実験や観察を通して理解を深められるよう工夫されている。
	(3) 学習を安全に行う上で配慮されているか。	(3) 実験や観察の場面では、安全に学習できるように工夫されている。	(3) 2年「酸化銅」では、酸化銅の性質や反応について、実験を通して理解を深められるよう工夫されている。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 既習事項について「これまでに学んだこと」として、下線が引かれており、振り返りやすくなっている。	(1) 2年「発電機」では、発電機のしくみや働きについて、図やイラストを用いてわかりやすく説明されている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 他教科の教科書紙面PDFがデジタルコンテンツとして用意されており、他教科の学習内容を具体的に提示できるよう配慮されている。	(2) 2年「発電機」では、関連する技術分野の教科書の紙面が掲載されている。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 色覚特性への対応として、カラーユニバーサルデザインの観点から配色やデザインについて配慮がなされている。グラフや図版は、色だけで区別することなく、線種を変えたり、単語で示されたりしている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 教科書の大きさがA4スリム版となっており、ゆとりのある紙面で実験の流れなどがわかりやすくなる。また、A4紙ファイルにきれいに収まり、持ち運びに便利である。	(2) 2年「圧力の求め方」では、単位の換算や計算について、わかりやすく説明されている。



教科用図書の記号・番号・名称			種 目	理 科	発 行 者 名
1 年	2 年	3 年			大日本図書株式会社
理科702 理科の世界 1	理科802 理科の世界 2	理科902 理科の世界 3			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		各学年の特記事項	
		小観点及び内容の全体的なもの			
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <p>① 自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解を図ること</p> <p>② 科学的に探究する力を養うこと</p> <p>③ 自然の事物・現象に主体的に関わり、主体的に探究すること</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習意欲を高め、主体的に関わり、主体的に探究すること</p>	<p>(1)</p> <p>① 自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解を図ること</p> <p>② 科学的に探究する力を養うこと</p> <p>③ 自然の事物・現象に主体的に関わり、主体的に探究すること</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に主体的に関わり、主体的に探究すること</li> <li>対話的で深い学びの実現に向けた学習意欲を高め、主体的に関わり、主体的に探究すること</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>① 2年「気圧と風」では、「例として、正しく理解している。」</p> <p>② 1年「物質の定数」で、その性質を詳しく説明している。</p> <p>③ 3年「運動とエネルギー」で、その性質を詳しく説明している。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年「化学変化」では、化学変化の仕組みを詳しく説明している。</li> <li>3年「化学変化」では、化学変化の仕組みを詳しく説明している。</li> </ul>	<p>① 2年「気圧と風」では、「例として、正しく理解している。」</p> <p>② 1年「物質の定数」で、その性質を詳しく説明している。</p> <p>③ 3年「運動とエネルギー」で、その性質を詳しく説明している。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年「化学変化」では、化学変化の仕組みを詳しく説明している。</li> <li>3年「化学変化」では、化学変化の仕組みを詳しく説明している。</li> </ul> <p>・「例として、正しく理解している。」</p> <p>・その性質を詳しく説明している。</p> <p>・「例として、正しく理解している。」</p> <p>・その性質を詳しく説明している。</p>	

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 巻頭ページでは、学習意欲を喚起し、全体を事象として取り上げ、内容を興味あるように写真や図表を用いて示している。	(1) 3年飛行士の写真を用いて、宇宙飛行士の偉業や科学的知識の重要性を強調している。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 単元末「読解力問題」で、単元の内容を振り返り、学習の成果を確認し、発展的な学習を促している。	(2) 単元末「読解力問題」で、単元の内容を振り返り、学習の成果を確認し、発展的な学習を促している。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 発達の段階に合わせた学習内容の配列が、単元間のつながりをよく保ち、学習の連続性を確保している。	(1) 1年では、抽象的な内容を「エネギ」の具体的な物質学習を通して理解し、2年では「生物」の学習を通して、生命の不思議さや生命の連続性を理解している。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 「つながる」が、単元間のつながりをよく保ち、学習の連続性を確保している。	(2) 2年「生物」の学習を通して、生命の不思議さや生命の連続性を理解している。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。	(1) 未習漢字や難読漢字は、見開きの初出にルビを入れており、読みやすくなるよう配慮されている。	(1) 1年では、抽象的な内容を「エネギ」の具体的な物質学習を通して理解し、2年では「生物」の学習を通して、生命の不思議さや生命の連続性を理解している。
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 学習意欲を高め、1年間を通して観察や観測に取り組むことができるよう、各学年の目次で「継続観察（観測）」が示されている。	

教科用図書の記号・番号・名称			種目	理 科
1 年	2 年	3 年		
理科703 中学校科学 1	理科803 中学校科学 2	理科903 中学校科学 3		学校図書株式会社
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1)	(1)	(1)
	<p>① 自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解を図ること、</p> <p>② 科学的に探究する力を養うこと</p> <p>③ 自然の事物・現象に主体的に関わり、自ら探究を進めること</p>	<p>① 知識を身に付け、理解を深め、内容を解き明かすこと、</p> <p>② 観察・実験を通して、科学的な探究を行うこと、</p> <p>③ 自然の事物・現象について、自ら探究を進めること、</p>	<p>① 1年「溶解度と再結晶」の溶解度曲線について丁寧な説明がなされている。</p> <p>② 2年「化学変化」の化学変化の観察・実験を通して、科学的な探究を行うこと、</p> <p>③ 3年「生体」の生体について、自ら探究を進めること、</p>	
	(2) 主体的・対話的で深い学びが実現しているか。	(2)	(2)	(2)
		<p>・ 各章ごとに見出しを付けて、内容を整理し、まとめる。</p> <p>・ 探究の過程を振り返り、学びの成果をまとめる。</p> <p>・ 探究の過程を振り返り、学びの成果をまとめる。</p>	<p>・ 単元学習の振り返り、学びの成果をまとめる。</p> <p>・ 単元学習の振り返り、学びの成果をまとめる。</p> <p>・ 単元学習の振り返り、学びの成果をまとめる。</p>	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・ 選択・ 取扱 について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 興味・関心を高めるため、単元扉・載通感 章扉に学内と内容を厳選し、意 図的に科学的な学習を配するよう 配慮されている。	(1) 3年「レスキュー」でも使わ れる日常生活や社会実感を 配慮されている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・ 各単元末には「学びを日常に したるが」が設けられ、基礎的・基 本的な学習内容が配慮されてい る。 ・ 学習内容の理解をさらに深め るため、生徒の関心に関連する 事例や実験の動画を配慮して いる。	(2) ・ 全学年の各単元について学 習内容を配慮している。 ・ 3年「塩化銅水溶液の電生 気分解」では、塩素の発生的な 電容と内電容を配慮している。
	(3) 学習を安全に行う上で の配慮がなされている か。	(3) 観察、実験の操作に危険が 伴う点と、所見のしきり、目 録、手順、観察のポイントを配 慮している。	(3) 1年「蒸留」の実験では、逆 流を防止するよう配慮して、 写真や動画を配慮している。
3 組織・ 配列等 について	(1) 構成、配列、系統性について 配慮されているか。	(1) 全単元最初のページに、「ふり返 ろ・つなげの」など、問いが 既習事項の配慮されている。	(1) 2年「電流とそのはたに では、小3から1まで学 習した内容を意識して よう配慮されている。
	(2) 他教科等との関連につ いて配慮されているか。	(2) ・ キャリア教育や日常生活と が図られる「ミッショ」を 紹介する「学ぶ」を配慮 されている。 ・ 「つなげがり」など、 マーカーが示す学習内容 と他教科との関連	(2) ・ 3年では、自然災害に する職業の面から学ぼう 有用性を感ぜられるよう 配慮されている。 ・ 1年「動物の仲間」は、 動物の仲間の分類に 関する技術の配慮
	(3) 学習を安全に行う上で の配慮がなされている か。	(3) 観察、実験の操作に危険が 伴う点と、所見のしきり、目 録、手順、観察のポイントを配 慮している。	(3) 1年「蒸留」の実験では、逆 流を防止するよう配慮して、 写真や動画を配慮している。
4 上記以外 の特徴点 について	(1) ユニバーサルデザイン の視点について配慮 されているか。	(1) ・ 教科書本文の情報を厳選し、 重要な内容を簡条書きに することで、端的で分かり やすい表現と配慮されてい る。 ・ 観察、実験において、全 ての手順の説明において実 物を用いることで、分か りやすく学習が進められ るよう工夫されている。	(1) 2年「電流とそのはたに では、小3から1まで学 習した内容を意識して よう配慮されている。
	(2) その他の特徴点は 何か。	(2) 巻末資料に「学びの交 換—アイデアボード—」が あり、生徒が意見交換し やすいよう配慮されている。	(2) 3年では、自然災害に する職業の面から学ぼう 有用性を感ぜられるよう 配慮されている。 ・ 1年「動物の仲間」は、 動物の仲間の分類に 関する技術の配慮



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(3) 学習を安全に行う上での配慮がなされているか。</p>	<p>(1) 「これまでの学習」で発達段階に應じて学習したことを出させたり、「学習前の私」で興味関心をひくきっかけを作っている。</p> <p>(2) 単元のおわり毎に要点と重要用語の整理「基本問題」が付けられており、補充的な学習に「サイエンス」で導入している。一でどの考え方の一助となるか。</p> <p>(3) 「注意」「禁止」のマークが強調されていて、実験を安全に行う配慮がされている。</p>	<p>(1) 2年「電流と電圧」では、小学校3年生で習ったことと、6年生で習ったことが、線事象か。</p> <p>(2) 1年「水溶液の性質」では飽和と水溶液の計算問題が、部分丁に解説している。</p> <p>(3) 1年白い物質の性質を調べるでは、石灰水の対処法を、まっただ時に配慮されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 「これまでの学習」や「発展」で学習のつながりが意識できるように工夫されている。</p> <p>(2) 教科書の文章中に他教科との関連を想起させる内容が記述されている。</p>	<p>(1) 3年「生物の成長」では、中学2年生の「生物と細胞」について思い出させ、終わりには高校生で習う「細胞周期」についても触れている。系統的に学習できるように工夫されている。</p> <p>(2) 2年「動物の体のつくりとはたらき」では、中学校の技術・家庭科では、と他教科との関連が明記されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) 探求の流れのマークが大きく配置され、分かりやすい工夫がされている。文字や写真、イラストが大きく見やすい配慮がされている。</p> <p>(2) ・「ためしてみよう」「参考」の実験が多く、生徒の興味関心が湧くような作りになっている。 ・裏表紙には、1年間で学ぶ内容が写真付きで簡潔にまとめられている。</p>	

令和3年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称				種目	発行	科目	
1年		2年		3年		発行	者名
理科705 未来へひろがるサイエンス1		理科805 未来へひろがるサイエンス2		理科905 未来へひろがるサイエンス3		株式会社新興出版社啓林館	
大観点	小観点	調査の結果					
		小観点及び内容の全体的なもの					
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。  ① 自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解を図ること  ② 科学的に探究する力を養うこと  ③ 自然の事物・現象の関わりと主眼点の深い学習で、主体的に探究すること	(1) ① 課題解決のため、調べたい内容の整理や、課題を整理し、説明し、納得させること。 ② 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ③ 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。	(1) ① 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ② 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ③ 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。	(1) ① 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ② 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ③ 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。			
	(2) 主体的な探究を、単元全体の探究に展開すること。	(2) ① 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ② 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ③ 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。	(2) ① 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ② 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ③ 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。	(2) ① 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ② 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。 ③ 単元の探究を、単元全体の探究に展開すること。			





令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 音楽（一般）

那須塩原市・那須町採択地区協議会



教科用図書の記号・番号・名称			種目	音楽（一般）
1年	2年	3年	発行者名	
音楽701 中学音楽1の 音楽のおくりもの	音楽801 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの	音楽802 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	教育出版株式会社	
大観点	小観点	調査の結果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された配 いた目標や内容の ① 曲想の多様性 背景音楽のす 音楽理解	① 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽の魅力を体験し、音楽の楽しさや感動を味わう。また、音楽の歴史や文化について学び、音楽の役割や意義を理解する。		① 1年 空へのぼろう 2年 3年 命がたたくとき 3年 3年 下（モルダウ） 2年 プル
	② 創意を育む 音楽の楽しさ 音楽の楽しさ	② 「Let's Sing」を基にした音楽活動を通して、音楽の楽しさや感動を味わう。また、音楽の歴史や文化について学び、音楽の役割や意義を理解する。		② 1年 3年 準備 2年 3年 上 2年 3年 下 2年 フレ
	③ 音楽の楽しさ 音楽の楽しさ	③ 「音楽の楽しさ」を基にした音楽活動を通して、音楽の楽しさや感動を味わう。また、音楽の歴史や文化について学び、音楽の役割や意義を理解する。		③ 1年 3年 ユニオン 1年 3年 ユニオン 1年 3年 ユニオン
	(2) 主体的な学習 学習の楽しさ 学習の楽しさ	④ 「音楽の楽しさ」を基にした音楽活動を通して、音楽の楽しさや感動を味わう。また、音楽の歴史や文化について学び、音楽の役割や意義を理解する。		(2) 1～3年 「何が同じで、何が違う？」 1年 王上 2年 3年 下 2年 3年 下 2年 オペラ 第2幕 第2場
(3) A及びB 表及び裏 表及び裏	⑤ 「音楽の楽しさ」を基にした音楽活動を通して、音楽の楽しさや感動を味わう。また、音楽の歴史や文化について学び、音楽の役割や意義を理解する。		(3) 1年 思出 2年 3年 上 2年 3年 下 2年 3年 下 2年 3年 下	
(4) 音楽の楽しさ 音楽の楽しさ	⑥ 「音楽の楽しさ」を基にした音楽活動を通して、音楽の楽しさや感動を味わう。また、音楽の歴史や文化について学び、音楽の役割や意義を理解する。		(4) 2・3年上 「ボピの音楽」 2年 3年 上 2年 3年 上 2年 3年 上	

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 歌唱教材や「歌のアルバム」では、歌唱から混声合唱へ、声の発展性を踏まえて、曲が取り上げられ、声の発達に段階を踏んでいくように、選曲や声の活用方法を工夫し、視覚的に説明されている。	(1) 1年 「青空へぼろう」 「夢は大空を駆けぬける」 「歌うための準備」 「変声と混声合唱」 2・3年上 「HEIWAの鐘」 2・3年下 「火の山の子守歌」 「大地讃頌」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。	(2) 「楽典」では、中学校で新しく学習する音楽の用語や記号等が、段階的に扱われており、指の番号やリズムの記号などが、具体的な例を挙げて説明されている。	(2) 巻末 「楽典」 1、2・3年上 「指揮をしてみよう」 1年 「くいなぼうのラップ」 2・3年上 「唱ていて『越天楽』をしよう」 「発展」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について考慮されているか。	(1) 領域や分野ごとに、音楽の歴史や文化、音楽の役割や社会との関わりなどについて、体系的に紹介されている。	(1) 表現領域（歌唱、創作）、鑑賞領域ごとに色分けされている。
	(2) 他教科等との関連について考慮されているか。	(2) 我が国の自然の美しさを感じること、日本の文化や歴史を学ぶこと、音楽を通じて他者とコミュニケーションを図ることなど、様々な教科との関連性を図っている。	(2) 1～3年 「日本の歌みんなの歌」 1年 「郷土のさまざまな民謡」 「箏曲『六段の調』」 2・3年上 「郷土の音楽や芸能」 2・3年下 「肖像で見る音楽年表1・2」
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について考慮されているか。	(1) ユニバーサルデザインフォントを使用し、全ての生徒が読みやすいよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何ですか。	(2) 1、2・3年上の「どんな特徴があるかな？」では、親しみやすい曲を取り上げ、音楽を形づくっている音楽の要素の働きに注目させるよう工夫されている。	



大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 「歌い継ごう日本の歌」や「心通う合唱」では、生徒にとって親しみやすく魅力ある教材が取り上げられ、興味・関心がもてるよう配慮されている。	(1) 1年 「涙そうそう」 2・3年上 「やさしさに包まれたなら」 2・3年下 「花は咲く」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・ 巻末の「音楽の約束」には、音楽の用語や記号、音楽を形づくっている要素が詳しくまとめられていて、生徒自身で学習の振り返りや補充がしやすいように工夫されている。 ・ 鑑賞教材には生徒の活動を促す「Challenge!」のコーナーが設けられており、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。	(2) ・ 巻末「音楽の約束」  ・ 1年 「ジョーズのテーマ」 2・3年上 「フーガト短調」 「交響曲第5番ハ短調」 2・3年下 「ブルタバ（モルダウ）」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 小学校の学びが中学校につながるよう、構成が工夫されている。  ・ 「My Melody」では、学年に準じて創作課題の難易度が上がるように設定されていて、生徒が無理なく創作できるよう工夫されている。	(1) ・ 1年、2・3年上 「リズムゲーム」 「リズムアンサンブル」 「リズムチャレンジ」 ・ 1～3年 「My Melody」
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・ 心のふれあいの大切さを味わえる内容の歌唱教材を取り上げ、道徳教育や人権教育との関連に配慮されている。  ・ 鑑賞教材において、曲に関する国や歴史の情報を解説と共に掲載した教材の中、「この頃、日本では…?」を日本と世界を比べながら学べるように工夫されている。	(2) ・ 1年 「Yes!!!」 2・3年上 「My Own Road」 2・3年下 「忘れることなんかできない」 ・ 1年 「春」 2・3年上 「『アイーダ』から」 2・3年下 「耳でたどる音楽史」
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 写真やイラストの文字は、デザイン性や文字の見やすさ（視覚性・視認性）に配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・ ICT機器を活用し、紙面上の二次元コードを読み取ることにより、学習をサポートするコンテンツの閲覧が可能となるように工夫されている。 ・ 巻頭に現在活躍しているアーティストや作曲家の特集や、「音楽ってなんだろう?」という音楽の本質を考えさせる記事が掲載されていて、音楽への関心が高まるよう工夫されている。 ・ 音楽3年間を通して、我が国の興味が広がるよう工夫されている。 ・ 楽ロクを多く取り上げ、生徒が興味をもち、伝統芸能を学ぶことができるよう工夫されている。 ・ 国歌「君が代」では、対応できりゃく・パリンピックやスポーツの国の国際試合などで「君が代」を歌う選手の写真と「国歌・国旗と国際儀礼」に際しての国際的な視点から、国歌の歴史や人権教育の観点から、国歌の歴史や諸外国の国歌を尊重する態度を養えるよう工夫されている。	

令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 音楽（器楽合奏）

那須塩原市・那須町採択地区協議会





教科用図書の記号・番号・名称			種目	音楽(器楽合奏)
1年	2年	3年		発行者名
音楽751 中学器楽 音楽のおくりもの				教育出版株式会社
大観点	小観点	調査の結果		
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項	
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された配慮 ① 曲想の多様な音楽表現の創造及び背景音楽の理解 ② 創意あふれる音楽表現の意図を捉え、表現の工夫を促す ③ 音楽の楽しさを味わい、表現の工夫を促す	(1) ① 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ② 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ③ 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	(1) ① 「何故に楽器が奏でる音が面白いのか?」という問いかけから、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ② 「Let's Play!」という問いかけから、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ③ 「Let's Play!」という問いかけから、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	
	(2) 主体的な学習活動の展開 ① 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ② 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ③ 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	(2) 「開く」をテーマに、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	(2) ① 「開く」をテーマに、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ② 「開く」をテーマに、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ③ 「開く」をテーマに、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	
	(3) 領域を越えての学習活動の展開 ① 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ② 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ③ 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	(3) 「開く」をテーマに、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	(3) 「開く」をテーマに、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	
	(4) 音楽の楽しさを味わい、表現の工夫を促す ① 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ② 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ③ 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	(4) ① 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ② 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。 ③ 楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	(4) 「開く」をテーマに、楽器の音の響き、音色、演奏の仕方、演奏者の感情などをよく観察し、表現の工夫を促す。	

大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・ 選択・ 取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 生徒にとって親しみやすく魅力ある映画音楽や、様々な難易度の曲が取り上げられ、発達段階に応じて選ばれるよう配慮されている。	(1) 「もののけ姫」「風のとおり道」等の映画音楽を、箏やリコーダーで演奏できるよう編曲が工夫されている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 「発展」の学習は、世界各地の民族楽器を取り上げたり、1つの曲を異なる楽器で表現したり、比較するなどの和楽器や音色や奏法、考案するなどの文化や伝統の学びを取り組んでいる。	(2) 「吹く楽器の仲間たち」「弾く楽器の仲間たち」等で、世界各地の民族楽器を取り上げられ、発展的な学習を促している。 ・ 「さくらさくら」の異なる味を表現する工夫（箏、三味線、和楽器の譜や弾き方、線譜感等）が、ある。
3 組織・ 配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 目次は大きく2つの学習活動に分けて曲がまとめられ、段階を学習できるように構成されている。 ・ リコーダーの学習では、学校の学び生かして、ソングブックやアルバムなどの関係性を理解しながら進められるように配慮されている。	(1) ・ 「演奏の仕方を身に付けよう」(基礎的技術の習得)と、「合わせて演奏しよう」(合奏・アンサンブル)の2つの学習活動で構成されている。 ・ 「しりとりの歌」「チャイニーズ・ダンス」では、アルトやトランペットのように学習活動が設定され、系統性が図られている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・ 各楽器とも、基本的な演奏法を練習し、積み重ねられるように配慮されている。 ・ 音楽の歴史や文化、音楽の楽しみや表現の豊かさ、音楽の役割や社会との関わりなどについて配慮されている。	(2) ・ 音楽家からメッセージが込められた「With My Heart」の楽曲を、生徒が自分たちで演奏できるように工夫されている。 ・ 「何展が同じ何が違？」の管楽器の演奏を、楽器の構造や演奏法について調べ、演奏できるように工夫されている。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) ・ 楽器の構え方や演奏している手元の写真が多く掲載され、奏法が端的に分かりやすく解説されている。特に、我が国の伝統楽器の取扱いについて丁寧に解説されている。 ・ 学習に集中できるレイアウトや配色(カラーユニバーサルデザイン)、見やすさや読み間違いをなくする文字(ユニバーサルデザインフォント)など細部にわたって配慮されている。	(1) ・ 写真が多く掲載され、奏法が端的に分かりやすく解説されている。特に、我が国の伝統楽器の取扱いについて丁寧に解説されている。
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・ 生徒が必要に応じて確認できるように、「リコーダー運指表」「ギター&キーボードコード表」「いろいろな用語、記号」が分かりやすく掲載されている。 ・ 「まなびリンク」では、ICT機器を活用し、二次元コードやURLにアクセスすることにより、学習に役立つ動画や音声を活用して、発展的な学習につなげるなど、生徒一人一人の学習に対応できるよう工夫されている。	(2) ・ 音楽家からメッセージが込められた「With My Heart」の楽曲を、生徒が自分たちで演奏できるように工夫されている。 ・ 「何展が同じ何が違？」の管楽器の演奏を、楽器の構造や演奏法について調べ、演奏できるように工夫されている。

種 目			音 楽 (器 楽 合 奏)
教科用図書の記号・番号・名称			発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株式会社 教育芸術社
器 楽 7 5 2 中 学 生 の 器 楽			
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小 観 点 及 び 内 容 の 全 体 的 な も の	各 学 年 の 特 記 事 項
1	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や配慮</p> <p>① 曲想の背景音楽理解</p> <p>② 創意の音楽表現</p> <p>③ 音楽の美しさ</p> <p>(2) 主体的な学習の指し</p> <p>(3) A及びBの表現</p> <p>(4) 生活と音楽の関わり</p>	<p>① 「アンのサンプルミナ一」の学習の目標を定めること。また、音楽の構造や表現の工夫について、楽器の仕組みや演奏の仕方などについて、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>② 音楽の歴史や文化について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>③ 音楽の美しさや面白さについて、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>(2) 音楽の歴史や文化について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>(3) 音楽の歴史や文化について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>(4) 音楽の歴史や文化について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p>	<p>① 「アンの音」の音の響きや音色について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>② 「アンの音」の音の響きや音色について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>③ 「アンの音」の音の響きや音色について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>(2) 「アンの音」の音の響きや音色について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>(3) 「アンの音」の音の響きや音色について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p> <p>(4) 「アンの音」の音の響きや音色について、具体的な知識や技能を身に付けさせること。</p>

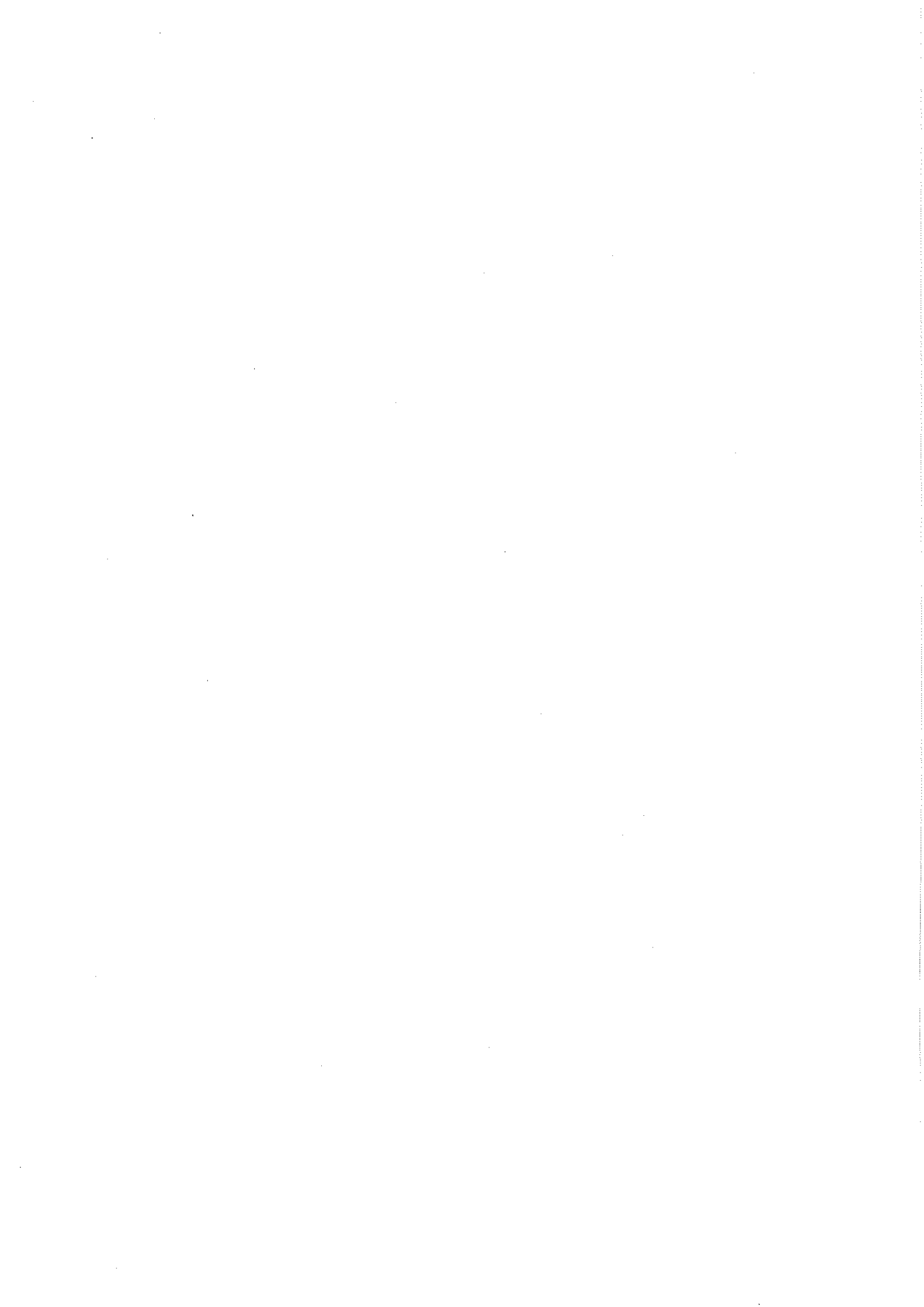
大観 点	小観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p>	<p>(1) 生徒にとって親しみやすいテレビや映画音楽、「バンドの世界」を取り上げ、曲を選んで心をとらされている。</p> <p>(2) 生徒の実態に合わせて、学んだことを振り返りながら、発展的な活動ができるよう工夫されている。</p>	<p>(1) 「笑点のテーマ」「美女と野獣」など、親しみやすい曲を数多く掲載し、興味をそそいでいる。</p> <p>(2) 「楽器でMelody」「Challenge!」で、学習したことを取り上げ、和楽器の演奏や楽器の仕組みを深く知る機会を設けている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 中学生の器楽の学習内容が楽器ごとの演奏や「アンサンブル」等取り入れられている。</p> <p>・ リコーダーの学習では、小一校の活動やソングを比較できるように工夫されている。</p> <p>(2) 演奏の姿勢や楽器の扱い、演奏の態度やリズムの練習など、音楽の基礎的なことを重視している。</p> <p>・ 郷土の祭りの伝統楽器の演奏や、地域の行事や祭りに関する資料を積極的に活用している。</p>	<p>(1) 楽器ごとの演奏や、基礎的な演奏の練習を重視している。</p> <p>・ 「聖者の行進」や「お祭り」などの曲を、小一校の活動やソングを比較できるように工夫されている。</p> <p>(2) 「遠くまで」や「お祭り」などの曲を、小一校の活動やソングを比較できるように工夫されている。</p> <p>・ 「お祭り」などの曲を、小一校の活動やソングを比較できるように工夫されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点はあるか。</p>	<p>(1) 配色や構成、ユニバーサルデザインフォントにより、学習しやすい紙面構成となっており、特別支援教育に配慮されている。</p> <p>・ 楽器の構造や演奏している手元の写真が多く掲載され、演奏が分かりやすいように解説されている。特に「打楽器」では、演奏法がよく分かる写真や、参考となるリズム練習が掲載されている。</p> <p>・ 「資料『楽器の図鑑』」では、様々な楽器が分かりやすく分類され、掲載されている。また、「資料『ギター/キーボードコード表』」では演奏する時の視点で模式図が示されている。</p> <p>(2) ICT機器を活用し、紙面上の二次元コードやURLにアクセスすることにより、各楽器奏者の参考資料を閲覧することができるように工夫されている。</p>	

令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

美 術

那須塩原市・那須町採択地区協議会



教科用図書の記号・番号・名称			種 目	美 術	発 行 者 名
1 年		2 ・ 3 年			開隆堂出版株式会社
美術 701 1 発見と創造	美術 801 2・3 探究と継承				
大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果			
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されている。	(1)			
	<p>① A表現(1)発想や構想的な点に及び、(1)資質に関する</p> <p>② A表現(2)技能に関する</p> <p>③ B鑑賞(1)鑑賞力(1)鑑賞力(1)鑑賞力に関する</p> <p>④ [共通事項]に関する</p>	<p>① ア 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>イ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>② 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>イ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>③ ア 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>イ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>④ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>イ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p>	<p>① ア 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>イ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>② 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>イ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>③ ア 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>イ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>④ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p> <p>イ 1年「ゴッホの「オリーブの木」を模写し、自分だけのイメージを加えて描く。この過程で、自分の思いや感情を表現し、個性を伸ばすことができる。</p>		
	(2) 主体的な学習活動を通して、自己表現の意欲や創造性を高める。	(2)			
	学習指導要領に示された目標や内容について配慮されている。	(2)			

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 巻末「基礎と、載工本なてり、	(1) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 2年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」	(2) 1年「機能と美しさの調和」「写し取る形」 2・3年「水墨画の「世界」の表現の「可能性」
	(3) 学習を安全に行う上で配慮がされているか。	(3) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」	(3) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 2冊「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」	(1) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」	(2) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」	(1) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」	(2) 1年「学」の資料「ロ」マークで印象づける」「ピクトグラムとサイン計画」



教科用図書の記号・番号・名称		種 目	美 術
1 年	2 年 ・ 3 年		発 行 者 名
美術 702 美術 1	美術 802 美術 2・3		光村図書出版株式会社
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
1 内 容 に 関 づ き	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <p>① A 表現(1)発想や構想の関する資質に関すること</p> <p>② A 表現(2)技能に関すること</p> <p>③ B 鑑賞(1)鑑賞力に関すること</p> <p>④ 〔共通事項〕に関すること</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの指し導けること</p>	<p>(1)</p> <p>① ア 1年 「自然の形や色を見つめて」 「心ひかれるこの情景」 2・3年 「今の自分、これから」 「躍動感を捉える」</p> <p>イ 1年 「生活をいもどる文様」 2・3年 「メッセージを伝える」</p> <p>② 1年 「どれで描く? どれで塗る?」 2・3年 「色を組み合わせて」</p> <p>③ ア 1年 「で表す美しさ」 「雷神神」 2・3年 「北斎からゴッホへ」 「ゲルニカ、明日への願い」</p> <p>イ 1年 「形や材料を比べて」 「やよよの」 「世界の」 「面と出会おう」 2・3年 「さまざまな椅子のデザイン」 「心を広くする」</p> <p>④ 1年 「見えないものを表す」 「印象に残るシンボルマーク」 2・3年 「風景に思いを重ねて」 「みんなのためのデザイン」</p> <p>(2) 1年 「生活をいもどる文様」 2・3年 「今の自分、これからの自分」 「心安らぐ場所をつくる」</p>	

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 1年では、図画工作と工芸の分野が取り上げられており、実情に合わせて選択できるような工夫がなされている。2・3年生では、多様な題材が取り上げられており、実情に合わせて選択できるような工夫がなされている。2・3年生では、多様な題材が取り上げられており、実情に合わせて選択できるような工夫がなされている。	(1) 1年「美術って何だろう？」 「デザインって何だろう？」 2・3年 「想像の生物をつくる」 「地域の魅力を伝える」
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 巻末資料において、様々な技法が詳しく解説されている。イラストや色紙、素材などの豊富に掲載されている。	(2) 1年「形の世界を知ろう」 2・3年 「材料の可能性」
	(3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。	(3) 巻末資料に、著作権や肖像権に関する注意喚起が掲載されている。	(3) 1年「版画の楽しみ」 2・3年 「写真や映像を撮影する」
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 構成については、題材の中で、まず「鑑賞」次に「表現」の順で行うようにしている。1つの単元の中で「鑑賞」「表現」「制作」の3つを一体的に行うようにしている。また、「デザイン」の単元では、「鑑賞」「表現」「制作」の3つを一体的に行うようにしている。また、「デザイン」の単元では、「鑑賞」「表現」「制作」の3つを一体的に行うようにしている。	(1) 1年「心ひかれるこの情景」 2・3年 「風景に思いを重ねて」
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 他教科との関連のある題材において、「〇〇」というテーマが掲げられており、学習で取り上げられている。	(2) 1年「生活を彩る文様」 2・3年 「メッセージを伝える」
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 見やすく読み間違えにくい「ユニバーサルデザイン書体」を採用している。 図のジャンプ率が抑えてあることや、罫線や背景色の変化などの工夫により見やすさが工夫されていることで、落ち着いた印象の画面構成になっており、学習に落ちて取り組めるようになっている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 要所に二次元コードが掲載されており、学習の参考となる全国の中学生の作品や動画などを見ることができる。	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	美 術
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
美術703 美術1 美術との出会い	美術803 美術2・3上 学びの実感と広がり	美術804 美術2・3下 学びの探求と未来	日本文教出版株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <p>① A 表現(1)発想や構想の資質・能力に関するイ</p> <p>② A 表現(2)技能に関すること</p> <p>③ B 鑑賞(1)鑑賞力に関するイ</p> <p>④ [共通事項]に関すること</p>	<p>① ア 掲載の作家や作品の個性・特徴を、リアルに捉え、その魅力を伝える。また、その制作過程や制作意図について、制作者の考えや工夫を探る。</p> <p>イ 鑑賞力に関するイ</p> <p>② 素材の性質や特性を、制作過程で体感し、その魅力を伝える。また、その制作過程や制作意図について、制作者の考えや工夫を探る。</p> <p>イ 鑑賞力に関するイ</p> <p>③ ア 鑑賞力に関するイ</p> <p>イ 鑑賞力に関するイ</p> <p>④ 材料の特性や性質を、制作過程で体感し、その魅力を伝える。また、その制作過程や制作意図について、制作者の考えや工夫を探る。</p>	<p>① ア 1年「材料に命を吹き込む」 2・3年「視点の冒険」 上下「今日を生きる私へ」</p> <p>イ 1年「人の暮らしを豊かに」 2・3年「くっつけて味わう」 上下「自分へ贈る卒業記念」</p> <p>② 1年「暮らしの中の木の工芸」 2・3年「くっつけて味わう」 上下「工芸を生きかして印象的に」</p> <p>③ ア 1年「絵の中をよく見る」と 2・3年「岡本太郎 芸術はみんなが生きる社会と未来」</p> <p>イ 1年「自然の美しさから生まれた」 2・3年「文化の出会いがもたらしたもの」 上下「人が生きる社会と未来」</p> <p>④ 1年「墨と水の出会い」 2・3年「季節の色 楽みん」 上下「心の色」</p>	
	<p>(2) 主体的・対話的で深い学びの指し導きについて</p>	<p>(2) 鑑賞力に関するイ</p> <p>作品の背景や制作意図について、制作者の考えや工夫を探る。</p>	<p>(2) 1年「屏風、美のしかけ」 2・3年「浮世絵はすごい」 上下「あの目を忘れない」</p>	



令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 保健体育

那須塩原市・那須町採択地区協議会



教科用図書の記号・番号・名称			種目	保健体育
1年	2年	3年	発行者名	
保体701 新しい保健体育			東京書籍株式会社	
大観点	小観	点	調査の結果	
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容が配慮されているか。	(1) 各内容及び範囲の整理や容れやすさ、理解しやすさ、	(1) 学習指導要領の内容を多く掲載している。生徒が理解しやすさ、	
	① 健康な生活と疾病の予防	① 睡眠の確保、栄養の摂取、生活習慣病の予防、	睡眠の確保、栄養の摂取、生活習慣病の予防、	
	② 心身の機能の発達と心の健康	② 心の発達、情緒の安定、	心の発達、情緒の安定、	
	③ 傷害の防止	③ 犯罪の防止、交通安全、	犯罪の防止、交通安全、	
	④ 健康と環境	④ 環境問題、健康と環境の関係、	環境問題、健康と環境の関係、	
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導の指し示し	(2) 学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の指し示し	(2) 学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の指し示し	
	(3) 社会の変化に伴う課題の解決	(3) 社会の変化に伴う課題の解決、	(3) 社会の変化に伴う課題の解決、	

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・ 各項目の出し方と学際性に留意し、関連する内容を幅広く取り扱っている。	(1) ・ 第2学年の「薬物乱用防止」では、中毒の危険性を、生活習慣病の予防として取り扱っている。
	(2) 補充的な学習、発展的な学習に配慮されているか。	(2) ・ 教科書の内容を基に、発展的な学習を促している。	(2) ・ 第3学年の「防犯」では、犯罪の被害者となる危険性を、防犯意識の醸成を通じて取り扱っている。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 保健学習の順序として、基礎から応用へと進んでいる。	(2) ・ 第1学年の「心身の健康」では、生活習慣病の予防と、心の健康を関連させて取り扱っている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・ 保健学習と、道徳教育との関連性を重視している。	(2) ・ 第2学年の「心身の健康」では、心身の健康と、道徳教育との関連性を重視している。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。	(1) ・ ユニバーサルデザイン化の観点から、教材の視覚的・聴覚的・触覚的配慮を行っている。	(1) ・ キーワードは文字を大きくし、イラストや写真を用いて視覚的に理解できるように工夫されている。
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・ 教科書の内容を基に、発展的な学習を促している。	(2) ・ 「D」の体験活動では、学生が主体的に関与し、学習内容の理解を深めることができるように工夫されている。



教科用図書の記号・番号・名称			種目	保健体育
1年	2年	3年	発行者名	
保体702 中学校保健体育			大日本図書株式会社	
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) ・ 各内容及び範囲は、中学校学習指導要領の内容に適合している。 ・ 体育理論のよき例を多く掲載し、生徒が理解しやすいように工夫されている。		
	① 健康な生活と疾病の予防	① ・ 食生活や衛生の観点から、感染症の予防、生活習慣病の予防、食生活の改善、心の健康などについて、具体的な指導がなされている。		
	② 心身の機能の発達と心の健康	② ・ 発達段階に応じた心身の発達を促すための指導がなされている。 ・ 心の健康を促すための指導がなされている。		
	③ 傷害の防止	③ ・ 傷害の防止に関する指導がなされている。 ・ 安全な遊びや活動の指導がなされている。		
	④ 健康と環境	④ ・ 健康と環境に関する指導がなされている。 ・ 環境問題に関する指導がなされている。		
	(2) 主体的・対話的で深い学びが実現しているか。	(2) ・ 主体的・対話的で深い学びが実現している。 ・ 学習意欲を高めるための指導がなされている。		
	(3) 社会の変化に伴う課題にか	(3) ・ 社会の変化に伴う課題に対応するための指導がなされている。 ・ 社会問題に関する指導がなされている。		



教科用図書の記号・番号・名称			種 目	保 健 体 育
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
保体703 最新 中学校保健体育			株式会社 大修館書店	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) ・ 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。 ・ 実体育本や		
	① 健康な生活と疾病の予防	① ・ 中学生に必要とされる健康な生活を送るための知識や技能の習得が図られているか。 ・ 中学生に必要とされる健康な生活を送るための知識や技能の習得が図られているか。		
	② 心身の機能の発達と心の健康	② ・ 中学生に必要とされる心身の機能の発達と心の健康を促すための知識や技能の習得が図られているか。 ・ 中学生に必要とされる心身の機能の発達と心の健康を促すための知識や技能の習得が図られているか。		
	③ 傷害の防止	③ ・ 中学生に必要とされる傷害の防止のための知識や技能の習得が図られているか。 ・ 中学生に必要とされる傷害の防止のための知識や技能の習得が図られているか。		
	④ 健康と環境	④ ・ 中学生に必要とされる健康と環境のための知識や技能の習得が図られているか。 ・ 中学生に必要とされる健康と環境のための知識や技能の習得が図られているか。		
	(2) 主体的・対話的で深い学びの指し示されているか。	(2) ・ 主体的・対話的で深い学びの指し示されているか。 ・ 主体的・対話的で深い学びの指し示されているか。		
	(3) 社会の変化に伴う課題について	(3) ・ 社会の変化に伴う課題について ・ 社会の変化に伴う課題について		

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・ 最初にでてくる「きょうの学習」で本時の学習内容を「理解し、課題を仕上げよう」として、生徒の興味や関心を引き出す工夫がされている。</p> <p>(2) ・ 各章の最後には、「章のまとめ」「問題」「思考・判断」が用意され学力の定着や自己評価および学んだことを活用して発展的な学習につなげられるように工夫されている。また、ページの下の方には「ほり下げ」の用語を詳しく説明し、これにより理解が深められている。</p>	
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・ 各章の初めに「章の」とり、各学年で学習する内容を系統的に配列されている。</p> <p>(2) ・ 本書には、「関連」「他教科」の目次があり、各章の初めに「関連」「他教科」との関係が示されている。</p>	
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) ・ 本文と資料部分が区別され、文字も大きく難しい漢字にはルビもあり、読みやすくなっている。また、イラストや写真を活用し、学習内容が理解できるように配慮されている。</p> <p>(2) ・ 各ページの下部に「web情報」のリンクがあり、学習内容がより詳しく見られるようになっている。また、学習内容がより詳しく見られるようになっている。</p>	



大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 各項目に「課題を学ぶ」という意図が、各章の冒頭で、各人のセリフやイラスト、心算など、各項目の導入部分で工夫されている。	
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 各項目で「深める」「広げる」という意図が、各章の冒頭で、各人のセリフやイラスト、心算など、各項目の導入部分で工夫されている。	
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 各章の構成が、各学年の学習内容と関連している。	(1) 1年生の学習内容が、2年生の学習内容と関連している。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 各章の内容が、他教科の内容と関連している。	
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。	(1) 各章の内容が、ユニバーサルデザイン化の観点から配慮されている。	右側に配置され、位置がわかりやすく、読みやすい。また、イラストや写真が豊富で、学習意欲を高める効果がある。
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 表紙のデザインが、学習意欲を高める効果がある。	

令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 技術・家庭（技術分野）

那須塩原市・那須町採択地区協議会





教科用図書の記号・番号・名称			種目	技術・家庭（技術分野）
1年	2年	3年	発行者名	
技術701 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology			東京書籍株式会社	
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 学習指導要領に沿った配列となっており、「1編 材料と加工の技術」「2編 生物育成の技術」「3編 エネルギー変換の技術」「4編 情報の技術」と順に構成されている。また、各編とも「技術の原理・法則と仕組み」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」で構成されており、学習指導要領の(1)(2)(3)に当てはまるように構成されている		
	A 材料と加工の技術	A 生活における問題を解決する。問題解決の例を多く（6例）掲載してある。生徒が製作において使用されると思われる道具、機械の使い方が丁寧に記載されている。		
	B 生物育成の技術	B 副題「学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。」と「生物育成の技術」の間に「サブタイトル」を扱っている。「ベビーリーフ」を扱っている。動物の飼育及び水産物の栽培、動物の飼育→ミニ豚（乳牛）の飼育→養殖（ヒラメ）		
	C エネルギー変換の技術	C 1章「エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み」では、10の項目があり28ページに及ぶ掲載がある。		
	D 情報の技術	D 情報モラル、情報セキュリティに関する部分の記載が手厚い。10ページ使用している。Webページ、チャットシステムが参考として記載されている。プログラミングとして、自動車の自動運転などを参考に制御するロボット制御の例を示している。問題解決の例として4つ記載がある。		
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現が図られているか。	(2) 「主体的・対話的で深い学び」につながる場面として問題解決の場面設定が各編に取上げられている。また、学習過程の中で、主体的に調べたり、友達と比較することも可能な場面設定が数多くある。		
	(3) 地域の実態に応じた配慮がされているか。	(3) 生物育成の技術の領域では「養殖ふぐ」「乳牛の飼育」など栃木県でも行われているものの紹介もあったが、それ以外の部分では、地域の実態に応じた配慮はない。		
	(4) 現代社会における諸課題について配慮がされているか。	(4) 各編とも「社会の発展と技術」にて、持続可能な社会についての技実がある。また、新幹線や電気自動車、新国立競技場、東京スカイツリーなどの写真など新しいものを取り入れている。		

大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	
2 程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 に つ い て	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(1) 生徒が主体的に取り組めるように、豊富な問題解決例を取り上げている。問題解決例のページに「私の工夫」が設けられており、生徒一人一人の興味・関心に合わせられる。</p> <p>(2) 幅広い難易度の問題解決例を豊富に揃え、授業時数や技能に応じて選べるようになっている。また、「Tech Lab」は基礎的・基本的な技能がまとめて掲載してありいつでも確認できるようになっている。</p> <p>(3) 巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう！」が設けてあり、中学校に入っ てすぐのガイダンスにて安全な作業等に関する注意喚起をしやすくなっ ている。 また、安全に関するポイントには「安全」マークが記載されている。</p>	
3 組 織 ・ 配 列 等 に つ い て	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情について配慮されているか。</p>	<p>(1) 各編とも「編の導入」→「基本のページ」→「学習のまとめ」の構成になっており適切に取り上げられている。</p> <p>(2) 各編の導入や随所に「他教科」マークがついており、他教科との学習内容の関連を図り教科横断的に学習を深められるようになっている。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実態についての特別な記載はないが、多くの問題解決、実習の例が記載させており実態に応じて選択することが可能</p>	
4 上 記 以 外 の 特 徴 点 に つ い て	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) 特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて専門家による校閲を受けている。また文字の書体、イラストのレイアウトなどにも配慮している。</p> <p>(2) デジタル教科書の充実、指導者用デジタルブックの充実</p>	

教科用図書の記号・番号・名称			種目	技術・家庭（技術分野）
1年	2年	3年	発行者名	
技術702 New技術・家庭 技術703 New技術・家庭	技術分野 明日を創造する 技術分野 明日を創造する	技術分野 明日を創造する 技術分野 明日を創造する	技術ハンドブック	教育図書
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 文字が大きい、読みやすいように配慮されている。図や写真、イラスト、動画などを活用し、理解を深める工夫がされている。また、学習の進捗や理解度をチェックするための設問や練習問題が豊富に用意されている。		
	A 材料と加工の技術	A 導入で「材料の性質や加工の仕方」について、具体的な事例や動画を用いて説明している。また、学習者自身が実際に材料を加工する体験を通して、理解を深める工夫がされている。		
	B 生物育成の技術	B 動物や植物の育成方法について、具体的な事例や動画を用いて説明している。また、学習者自身が実際に動物や植物を育てる体験を通して、理解を深める工夫がされている。		
	C エネルギー変換の技術	C 単元と興味・関心を結びつける工夫がされている。また、学習者自身が実際にエネルギー変換の実験を通して、理解を深める工夫がされている。		
D 情報の技術	D プロジェクト学習や探究学習など、学習者自身が実際に問題を解決する体験を通して、理解を深める工夫がされている。			
(2) 主体的・対話的で深い学びが実現されているか。	(2) 主体的・対話的で深い学びが実現されている。学習者自身が実際に問題を解決する体験を通して、理解を深める工夫がされている。			
(3) 地域の実態に配慮されているか。	(3) 身近な生活や地域の実態に配慮されている。学習者自身が実際に地域の実態を体験を通して、理解を深める工夫がされている。			
(4) 現代社会における課題について配慮されているか。	(4) 各編に設けられた課題は、現代社会における課題を扱っている。学習者自身が実際に課題を解決する体験を通して、理解を深める工夫がされている。			

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(3) 学習を安全に行う上で配慮がされているか。</p>	<p>(1) 図や写真が多く利用されているため、目で見ても興味・関心を引くデザインに仕上がっている。また、簡単な実例が多く紹介されている。さらに、発達段階に応じて、ハンドブックを利用する際の配慮がされている。</p> <p>(2) 発展的な内容に「発展」のマークが示されており、生徒の興味・関心に配慮されている。また、実例が多く取り上げられていることにより、生徒が自分なりの工夫ができるような構成になっている。</p> <p>(3) 実習に入る前に安全について確認事項が設けられている。また、「安全」マークが示されるなど適切で安全に作業が行われるように配慮されている。</p>	
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情について配慮されているか。</p>	<p>(1) 学習指導要領の項目に対応させた章の構成になっている。各学習内容において「見つける」、「学ぶ」、「振り返る」の構成になっており、1単元時間ごとに生徒の考えを深めよう、「構成されよう」、「学びを深めよう」、「学びを深めよう」といった内容で進められており、生徒の興味・関心を高めるように配慮されている。</p> <p>(2) 小学校の既習内容を「リンク」で表示することで、小学校の内容を生かす配慮がなされている。また、他教科とのリンクも記載されている。</p> <p>(3) 身近なものを使った実習ができるように考えられており、各学校でも取り組みやすいように配慮されている。</p>	
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) 教科書の文字が大きく表示されており見やすい工夫がされている。また、図や写真が多く使用されており、視覚的に学習しやすい構成になっている。</p> <p>(2) 教科書の最終ページに「ワークシート」が付けられており、教科書の内容とリンクして最終確認できるように配慮されている。また、作業内容を手軽に確認できるように配慮されている。</p>	

教科用図書の記号・番号・名称			種目	技術・家庭（技術分野）
1年	2年	3年	発行者名	
技術704 技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて			開隆堂出版株式会社	
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) どの単元の導入部が、身近なものを題材にしてあり考えやすくなっている。また、問題解決型が共通されており、課題設定から課題解決までの流れが分かりやすくなっている。		
	A 材料と加工の技術	A 説明分が簡潔で分かりやすくまとめられている。実習例が多岐にわたっている。工具の使い方もポイントが押さえられており分かりやすくなっている。		
	B 生物育成の技術	B 実習例の中で、管理の方法が丁寧に載っており分かりやすくなっている。水の産物・動物の飼育、水産物の栽培→トマト・動物の飼育→乳牛・水産物の飼育→養殖（マダイ）		
	C エネルギー変換の技術	C 生活の中で使っている家電が例として取り上げられており、エネルギー変換について考えやすいようになっている。		
	D 情報の技術	D 他分野や他の教科と合わせて考えることができる内容になり、深い学びに双方が計画的・制御・プログラミングとしてプロロボによるプログラミングなどを		
	(2) 主体的・対話的で深い学びの指し示されているか。	(2) いろいろな種類のマーカーがあり、学びを深めたり、知識を広げたりしやすくなっている。この記載があり、課題の発見から課題の解決につながるようになっている。		
	(3) 地域の実態に応じた配慮がされているか。	(3) 日常生活で使っているものが実習例に上げられており、実態に合わせて選ばれるものや、液体栽培、ドジョウの養殖や人工林など多くの実習例が取り上げられており、選択の幅が広く配慮されている。「調べてみよう」「話し合ってみよう」という記載がありアクティブな活動を生み出しやすくなっている。		
	(4) 現代社会における諸課題について配慮されているか。	(4) どのABCどの内容においても、切実な問題が提示されており、身近な課題として取り組めるよう配慮されている。各内容とも、内容の最後に、学習の内容を未来へつなぐ記載がある。		

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(1) 各单元ごとに、技術の歴史があつたり、実際の中学生が開発し、表彰された写真などがあつたりし、興味関心が高まるよう配慮されている。また、豆知識が毎ページあり、より技術への関心が高まる工夫がされている。</p> <p>(2) 探求、参考、課題、発展のマークがあり、発展的に学べるように配慮されている。</p> <p>(3) 工具の使いを写真で大きく載せてあり、安全に扱えるよう配慮されている。また、安全マークがあり、大切な部分が確認出来るようになっている。</p>	
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情について配慮されているか。</p>	<p>(1) 単元のまとめに大切な用語表や自己評価があり、最後に学んだことを確実に身に付ける事ができる構成になっている。</p> <p>(2) 他教科マークや小学校マークがあり、ひと目で関連が分かるよう配慮されている。</p> <p>(3) 各单元とも、どの学校にでもある工具を活用し、どんな環境でもできる実習例が多くあり、学校の特色に合わせた授業ができるよう配慮されている。</p>	
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) 簡潔にまとめられ、誰にでも分かるような説明になっている。UDフォント、各所にルビがある。また、読み間違いをしないように改行も工夫されている。</p> <p>(2) デジタル教科書の充実。教科書に記載されているQRコードを読み取ることで簡単に参照することができる。提供しているコンテンツは150。</p>	

令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 技術・家庭（家庭分野）

那須塩原市・那須町採択地区協議会







大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1)・ 調理実習や布作品など、幅広い難易度の実習題材を豊富に揃え、生徒の興味・関心に応じて題材を選ぶことができるよう考慮されている。 ・ 各編の導入ページで「小学校家庭での学習」が掲載され、振り返ることで中学校の学習内容につながるよう工夫されている。	
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2)・ 発展的な学習内容の個所には「発展」マークを明示している。また、各ページの下に関連した内容を掲載した「せいかつメモ」で、知識の幅が広がるよう工夫されている。	
	(3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。	(3)・ 巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう！」を設け、実習前、実習中、実習後やれぞれのおしごとを安全に点検できるように「安全」マークを明示し、生徒の意識を高めるよう配慮されている。	
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1)・ 各内容の順番がB、C、Aで構成され、「自ら生活をつくる」「生活者としての意思決定をする」「ともに生きる」へと学びが広がるよう配慮されている。 ・ 各編ともに、「編の導入」→「基本ページ」→「学習のまとめ」の構成で統一されている。	
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2)・ 「他教科」マークを随所に明示し、中学校の他教科等との学習内容の関連を図っている。 ・ また、巻末に「深まる、広がる家庭分野の学習」のページが設けられ、他教科との関連が一目でわかるように配慮されている。	
	(3) 学校の施設・設備の実情について配慮されているか。	(3)・ 食生活の加熱機器の種類ではガスコンロとIH調理器それぞれの特徴をおさえた配慮がされている。 ・ また、調理器具の取り扱いについて掲載したりなど、各校の実情に配慮されている。	
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1)・ 書体はユニバーサルデザインフォントを使用している。また配色を控え目な色合いにし、デザインと調和するように配慮されている。 ・ 各編ごとに色分けしてあり、使いやすく工夫されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2)・ 「プロに聞く！」でさまざまな分野で活躍している人たちからのメッセージが紹介されていて、生徒が自分の将来に目を向けられるよう工夫されている。 ・ インターネットを活用して効果的に学習を進めるために二次元コードが設けられている。巻末に「Dマークコンテンツ一覧」で活用の仕方が明確に記されている。 ・ 実物大写真や折り込みページ、子どもの視界体験眼鏡など生徒の興味・関心を高める資料が掲載されている。	

教科用図書の記号・番号・名称			種目	技術・家庭（家庭分野）
1年	2年	3年	発行者名	
家庭702 New技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する			教育図書株式会社	
大観点	小観点	調査の結果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 育成を指す3つの資質・能力を意図し、意識し、家庭構成のなごり、随所に「なごり」を配している。A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境		
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導の指し示されているか。	(2) 「話し合い」を通して、生活の中で実践する機会を多く設けている。A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境		
	(3) 地域の実態に配慮されているか。	(3) 「地域」をキーワードに、地域の課題や課題を解決するための取組や活動を紹介している。A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境		
	(4) 社会における諸課題に配慮されているか。	(4) 「社会」をキーワードに、社会課題や課題を解決するための取組や活動を紹介している。A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境		



教科用図書の記号・番号・名称			種 目	技術・家庭（家庭分野）
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
家庭703 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生			開隆堂出版株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	<p>(1) 生活の営みを通して、主体的に生活力や生活態度を身に付け、自ら考え、行動し、社会に貢献する態度を養う。</p> <p>A 家族・家庭生活                      ガの関心や生活態度を身に付け、家族の役割や責任を自覚し、協力して生活する。</p> <p>B 衣食住の生活                      食生活や衣生活の健康や安全を確保し、生活環境の改善や美化に努める。</p> <p>C 消費生活・環境                      消費生活の安全や健康を確保し、環境保護や持続可能な社会の実現に努める。</p>		
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習者や学習者の状況、学習の進め方、指導の工夫等が適切に配慮されているか。	<p>(2) 学習者の生活や学習の状況に応じて、適切な指導や支援を行う。</p> <p>・ 生活や学習の状況に応じて、適切な指導や支援を行う。</p> <p>・ 生活や学習の状況に応じて、適切な指導や支援を行う。</p>		
	(3) 地域の実態に配慮されているか。	<p>(3) 地域の実態に配慮した学習活動や教材の開発を行う。</p> <p>・ 地域の実態に配慮した学習活動や教材の開発を行う。</p> <p>・ 地域の実態に配慮した学習活動や教材の開発を行う。</p>		
	(4) 社会における課題や問題について配慮されているか。	<p>(4) 社会における課題や問題について、適切な学習活動や教材の開発を行う。</p> <p>・ 社会における課題や問題について、適切な学習活動や教材の開発を行う。</p> <p>・ 社会における課題や問題について、適切な学習活動や教材の開発を行う。</p>		

大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	
2 程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 に つ い て	(1) 発達段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 授業の導入で学習の動機付けができるよう、身の回りのことをもとにした「導入課題」を配置して、学習の意欲を喚起する工夫がなされている。 ・教科書が見開きで1時間の学習内容がまとまっており、見通しをもって学習に取り組める。 ・学習に実習の組みあわせが写真やイラストで整理されたレイアウトになっており、興味をもつて取り組める。 ・オリエンテーションやパラリンピックに関連した資料やそれらに関係の深い人へのインタビューが掲載されており、中学生が関心をもって取り組める。	
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 学習の内容及見えていくマークによって、発展的な学習内容について一目でわかるように、生活を見出し、解決するための計画を取り組むための工夫がなされている。 ・例として、生活の長期間に、一人で時間をかけて取り組むことのできるコンテストや多人数で行うことのできるコンテストや多人数で行うことのできるコンテストなど、補充・発展的な学習の機会が豊富にある。	
	(3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。	(3) 「安全」マーク、「衛生」マークを付し、学習を安全に行えるように配慮されている。特に調理実習における衛生面の記載が充実している。	
3 組 織 ・ 配 列 等 に つ い て	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) 食事の役割について学習し、調理の基礎を習得した後で、献立の学習が各内容の最初に行われ、既習内容を確認・振り返りやすくなっている。	
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 関連を示すマークが定位置に示されており、技術分野および他教科と関連付けて学習できるようになっている。	
	(3) 学校の施設・設備の実情について配慮されているか。	(3) 調理実習や布を用いた生活を豊かにするもの製作では、実習例が豊富にあるように配慮されている。	
4 上 記 以 外 の 特 徴 点 に つ い て	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) 一般財団法人日本色彩研究所による校閲がなされ、カラーバリアフリーの観点から、図やグラフの色や配色など、弱視の子どもたちに読み取りやすいように配慮されている。 ・読みやすい書体・大きさやユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・生徒の発達段階および、特別支援を要する生徒への配慮がされている。 ・学習の流れが統一的に示されていることで、特別な支援を要する生徒にとって安心して落ち着いて授業に取り組むことができるよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) 「先輩からのエール」と称し、随所に多種多様な職種で働く人々へのインタビューなどが掲載されており、キャリア教育につながるよう工夫されている。 ・項目や実習・製作のページにQRコードが記載され、生徒がより主体的に学習に取り組めるように工夫されている。	

令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

英 語

那須塩原市・那須町採択地区協議会





教科用図書の記号・番号・名称			種目	英 語
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
英語701 NEW HORIZON English Course 1	英語801 NEW HORIZON English Course2	英語901 NEW HORIZON English Course3	東京書籍株式会社	
大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示されて配られた目標や内容に関する事項について、 ① 外国語の音声や文法、語彙の活用、コミュニケーション能力の育成、 ② コミュニケーション能力の育成、 ③ 外国語の活用、	(1) ① 各単元の最初に設定されている「Preview」では、本文を読む前に、その概要を「Let's Listen」、「Let's Write」で、 ② 「Unit Activity」で、 ③ 「Unit Activity」で、	(1) ① 各単元の最初に設定されている「Preview」では、本文を読む前に、その概要を「Let's Listen」、「Let's Write」で、 ② 「Unit Activity」で、 ③ 「Unit Activity」で、	(1) ① 1年： ② 2年： ③ 3年：
	(2) 主体的な学習活動を通して、 ① 外国語の活用、 ② コミュニケーション能力の育成、 ③ 外国語の活用、	(2) ① 「Preview」で、 ② 「Unit Activity」で、 ③ 「Unit Activity」で、	(2) ① 「Preview」で、 ② 「Unit Activity」で、 ③ 「Unit Activity」で、	(2) ① 「Preview」で、 ② 「Unit Activity」で、 ③ 「Unit Activity」で、

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p>	<p>(1) 小学校で学んだ内容を振り返りながら、既習事項を繰り返し学習できるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介や手紙の書き方など、生徒に身近な話題を取り上げるとともに、写真や絵を多用し、学習意欲を喚起することができるよう工夫されている。</li> <li>「学び方コーナー」では、各学年の発達の段階に応じた英語の学び方が示されている。</li> </ul> <p>(2) 「Grammar for Communication」では、生徒が混同しがちな用法や文法に意識を対比的に扱っていきながら学習できるように配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「Optional Reading」では、高等の学校で学習する文法事項が取り上げられていて、また、通し読みや力のある文章を力をつけて読む工夫が図られている。</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>1年：自己紹介ポスター 2年：ホームステイのお礼の手紙 3年：有名人への手紙</p> <p>(2)</p> <p>2年：過去完了、仮定法 3年：関係副詞、分詞構文</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 各単元は、導入としての「扉」、気付きを促す「Preview」、概要を把握する「Scene」、読んで表現につながる「Read &amp; Think」で構成され、段階的に学習を進めることができるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間三回、「Stage Activity」が設定され、複数の単元で学習した言語材料などを活用して、まとまりのある内容を開いたり、話したりするなど、複数の領域を統合的に関連付けた活動が行えるように工夫されている。</li> <li>小学校での既習語句が印を付けて示されている。また、1年生のUnit 1から5では、小学校段階で慣れ親しんだ表現を使って話す活動が図られるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2) 食品表示や食物連鎖などの題材が扱われており、他教科等との関連が図られる配慮されている。</p>	<p>(1)</p> <p>1年：自己紹介、好きな有名人、思い出の行事 2年：将来の自分への行事調査発表、おすめ場の 3年：部活動・特別活動報告、日本文化、ディベート</p> <p>(2) 1年：Learning LITERATURE in English (国語) 2年：Learning HOME ECONOMICS in English (技術・家庭) 3年：Learning SCIENCE in English (理科) など</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) 手書き文字に近いフォントの使用や、統一感のある紙面の配置により、視認性・可読性を高めるよう配慮されている。</p> <p>(2) 小・中・高のつながりを意識したCan-Doリストが掲載されており、目標に対する到達度を自分で確認できるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新出語句や本文の音声、動画を視聴することができる二次元コードが各ページに掲載されており、家庭学習等において活用できるよう工夫されている。</li> <li>活動目標を一覧で示すことにより、学習の見通しを立てられるよう配慮されている。</li> </ul>	



大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・ 「Retell」では、学年レベルに段階を設け、発達段階に合わせた活動となるよう配慮されている。 ・ 「話す」活動を中心とし、1年トピックや3年生のトピックなど、発達段階に即した工夫を行っている。 ・ 単元で学習する内容を提示する「とびら」の写真で、興味・関心を高め、学習意欲を喚起するよう配慮している。	(1) 1年：スピーチ 2年：ポスター作成 3年：ディベート、ディスカッション
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・ 単元末の「英語のしくみ」では、学習内容の「英単語の整理」が、学習の2、3年生に配置してある「Reading」ではセクションで分けず、通常課より語数が多い文章が読めるよう配慮されている。 ・ 「3年生の進度が、高学年の文章を学ぶのに適している。」	(2)
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 学習の見通しを立てる「とびら」、新出表現を身に付ける「Scenes」、題材の内容について考える「Think」、自分の言葉で本文の内容を説明する「Retell」、自己表現する「Interact」で構成され、段階的に学習を進めることができるよう配列されている。 ・ 年間2回か3回、「Our Project」が設けられており、各課で学んだ語材を活動で行えるよう配慮されている。 ・ 「Retell」や「Our Project」では、既習の語材を活用し、グーグルマップや動画を活用し、心付けよう工夫されている。 ・ 単元を中身に連ねるよう工夫されている。	(1) 1年：自己紹介、他者紹介、写真や絵の紹介 2年：旅行の企画、ポスター発表、1年間の思い 3年：記者会見、自分の町を世界にPR、中学校の思い出
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・ 日本文化やSDGs、国際問題、環境問題、異文化理解、外国語教育、保健体育など、幅広い領域をカバーしている。	(2) 1年：書写(国語)、フィンランド(社会) 2年：自然科学(理科) 国 3年：国際社会(社会) 国 保健体育(保健体育) AI(技術)など
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) ・ 1ページに盛り込む情報を多くしすぎないこと、ゆとりをもたせたり、紙面を広く配色する工夫をすることで、読みやすくなるよう配慮している。 ・ デジタル教科書では、色の反転機能を使用できるよう工夫されている。	(1) すぎないこと、ゆとりをもたせたり、紙面を広く配色する工夫をすることで、読みやすくなるよう配慮している。
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・ 巻末資料のCan-Doリストを用いて、目標に対する自分の到達度を年間三回の確認を聴くことで活用できるように工夫されている。 ・ おもてなしの心で、各ページに掲載されている。自己表現活動に活用できるように配慮されている。 ・ 三年間の到達目標が全学年の教科書で明確に紹介されており、三年間の教科書が頭から最後まで「学びに向かう力」の流れを示し、見通しがもてるよう配慮されている。	(2) 目標に対する自分の到達度を年間三回の確認を聴くことで活用できるように工夫されている。



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・ 1年生では、小・中連携、3年生では中高連携の観点から、各単元では語数増加や異文化理解が数多し、物事や付録の「For Self-Study」では、学年に応じた学び方が示されている。	(1)  1年：Our New Friend 2年：Things to Do in Japan 3年：The World's Manga and Anime
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・ 各単元末の「文法のまとめ」では、内容は、巻末の「Reading for fun」、等紹介と語彙	(2)  3年：関係副詞、使役動詞
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 各単元は、学びの通し立てる「Get」、英文の概要や要点をとす「USE READ」、学びを振り返る「What Can I Do?」で構成され、段階的に学習を進めること、年間三回、「Project」が設定され、幅広いテーマで複数を統合的に取り扱う。1年生のLesson 1から3では、小学校で学んだ語句や表現の活用を図る。	(1) 1年：理想のロボット、タウンガイドの作成、大切なもの紹介 2年：将来の夢、修学旅行のプラン、デザイン、スカッシュ 3年：提案しよう、国際交流イベント、デザイン
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・ 他教科等での学習と関連させ、外国語で試みる。	(2) 1年：地域の食文化（家庭）、スポーツと共生社会（保健体育） 2年：天気（理科）、日本の古典芸能（国語） 3年：公民権運動（社会）、生命・正義（道徳）など
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。  (2) その他の特徴点は何か。	(1) ・ ユニバーサルデザインフォントの使用や配色の工夫などにより、視認性、可読性を高めるよう配慮されている。  (2) ・ 巻末にCan-Doリストが掲載されており、学習の目標を明確に示すとともに、家庭学習の参考に、言動を促すよう配慮されている。	おり、年間を通して学習を進める。各ページに、配るべき学習の目標や、活用できるポイントが、おおよそおいて活用できる。各ページに、おおよそおいて活用できる。各ページに、おおよそおいて活用できる。



大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選 択・取扱 について	(1) 発達の段階、興味・関 心について考慮されてい るか。  (2) 補充的な学習、発展的 な学習について配慮され ているか。	(1) ・ 「話す」活動において、1年生で は調査、2年生ではプレゼンテーショ ン、3年生ではディベートと発達の段 階に即した活動を行うことができるよ う工夫されている。 ・ 各単元の題材に関連した写真を多 数掲載し、生徒の興味・関心が高ま るよう配慮されている。  (2) ・ 巻末の「Activities Plus」では、 対話を通して、互いに学び合いなが ら、既習の学習内容を繰り返し活用 することができるよう工夫されてい る。 ・ 各単元の後に「Grammar」や 「Tips」が設けられて文法事項が整 理されており、学習内容の定着が図 れるよう配慮されている。 ・ 巻末の「Further Reading」で は、様々な題材がバランスよく取り 上げられ、生徒が興味をもつこと を進められるよう工夫されている。	
3 組織・配 列等につ いて	(1) 構成、配列、系統性に ついて配慮されている か。  (2) 他教科等との関連につ いて配慮されているか。	(1) ・ 各単元は、新出の文法事項の用法 を理解する「Part」、本文の内容や言 語材料をまとめ、確認するための 「Review」、「Task」、「Grammar」 で構成され、段階的に学習を進めるこ とができるよう配慮されている。 ・ 年間二回から三回、「Project」が 設けられ、スピーチやディベートな ど、複数の領域を総合的に関連付け た言、語活動を行うことができるよう配 慮されている。 ・ 1年生では、小学校で慣れ親しん だ表現を活用して、繰り返し活動を行 うことができるよう工夫されている。  (2) ・ 異文化及び日本の伝統文化、情 報、福祉、健康など幅広い話題が取り 上げられており、他教科等との関連が 図られるよう配慮されている。	(1)  1年：標識、アンケート調査 2年：将来の夢、名所紹介、 日本文化紹介 3年：CM作成、卒業スピーチ 、ディベート  (2) 1年：日本の地理（社会） 環境問題（社会） 2年：動物の生態（理科） 日本の歴史（社会） 3年：第二次世界大戦（社会） ディベート （学級活動） など
4 上記以外 の特徴点 について	(1) ユニバーサルデザイ ン化の視点について配 慮されているか。  (2) その他の特徴点は何 か。	(1) ・ フォントや配色等に統一感をもたせ、視認性・可読性を高めるよう 配慮されている。  (2) ・ 巻末に、三学年分のCan-Doリストが掲載されており、目標に対する 自分の到達度を確認することができるよう配慮する。 ・ 本文等の音声を聞くことができる二次元コードが各単元に掲載され ており、家庭学習等において活用できるよう配慮されている。	





大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・ 登場人物が、高学年になると、登場人物の心理が、より複雑になる。また、登場人物の行動が、より合理的になる。 ・ 「Song」の歌詞が、外国語で書かれている。また、歌詞の意味が、外国語で書かれている。 ・ 教科書は、英語の学習に役立つように、英語の歌詞が、外国語で書かれている。 ・ 「Active Grammar」では、関係性のある文法事項が、整理されている。 ・ 「Story Retelling」や「Let's Talk」などの活動が、既習の語彙や文法事項を、活用できるように工夫されている。 ・ 「Let's Read」では、分量のある文章が、読みやすいように工夫されている。	(1) 1年：部活動見学、転校生、学校公開日 2年：球技大会、防災訓練、職業体験、学校コンクール 3年：修学旅行
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・ 「Active Grammar」では、関係性のある文法事項が、整理されている。 ・ 「Story Retelling」や「Let's Talk」などの活動が、既習の語彙や文法事項を、活用できるように工夫されている。 ・ 「Let's Read」では、分量のある文章が、読みやすいように工夫されている。	(2)
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 各単元は、話題を予測し話の概要を取り、場面に沿った練習をする。「Part」、単元の目標となる言語活動に取り組み、「Goal」で構成され、段階的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ・ 年三回、「You Can Do It」が設定され、既習の言語材料を活用して、中心テーマやグループで複数の領域を統一的に広げたいという目的が達成できるように配慮されている。 ・ 1年巻頭「Let's Be Friends」では、小学校の学びから中学校学習へつなぐ工夫がされている。	(1) 1年：自己紹介、「ドリームファミリー」紹介、学校行事紹介 2年：観光プラン、職業診断チャート、日本文化の紹介 3年：歴史、学校に必要なくもめる言葉
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・ 他教科等と習得した知識を、外国語で考えることができるよう配慮されている。	(2) 1年：My Japanese Lessons (国語) 2年：オーストラリア (社会) 3年：AI Technology (技術)
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザインの視点について配慮されているか。	(1) ・ ユニバーサルデザインの配色や文字の大きさ、書体など、視認性・可読性を高める配慮がされている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・ 巻末のCan-Doリストで、自分の到達度を確認することができるよう工夫されている。 ・ 二次元コードが各ページに掲載されており、家庭学習等において本文の音声や動画を視聴して活用できるような工夫がされている。 ・ 音楽や動画を取り外し可能な巻末付録が、付いており、三年間繰り返し学習が、自己表現活動に活用できるような配慮がされている。	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	英 語
1 年	2 年	3 年		発 行 者 名
英語706 BLUE SKY English Course 1	英語806 BLUE SKY English Course 2	英語906 BLUE SKY English Course 3		株式会社 新興出版社 啓林館
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について、 ① 外国語の音声や文法、発音、アクセント、語彙、表現の実際を、 ② コινωνalな状況や場面、シチュエーション、 ③ 外国語の文化、マナー、 を重視し、	① 「Part」の材料を、 ② 「Express Yourself」の材料を、 ③ 外国語の文化、マナー、 を重視し、		(1)
	(2) 主体的な学習態度の育成、 ① 外国語の文化、マナー、 を重視し、 ② コινωνalな状況や場面、 シチュエーション、 ③ 外国語の文化、マナー、 を重視し、	① 「Part」の材料を、 ② 「Express Yourself」の材料を、 ③ 外国語の文化、マナー、 を重視し、		(2)

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・ 日本のマンガやアニメ、防災、平和、地域活性化など、多様な題材が扱われ、生徒が広い視野で考えることができるよう工夫されている。  ・ 「Project」では、発達の段階に即した活動を行うことができるよう配慮されている。	(1) 1年：日本のマンガ文化 2年：防災、手話 3年：ハラルフード、戦争体験、地域活性化
	(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) ・ 「Targetのまとめ」では、複数の「Target」で学んできた文法事項が整理され、繰り返し学習することができるよう配慮されている。 ・ 巻末の「Let's Read」では、ある程度分量のある文章を読み、高等学校での学習につなげる語彙や読解力を育成することができるよう配慮されている。	(2)
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 各単元は、テーマや目標の確認を通して進出の言語材料の習得を図る「Part」、本文を用いて読解力を高める「Read & Think」、ミニスピーチを作成し発表につなげる「Express Yourself」、内容に関連する情報を読み理解を深める「More Information」で構成され、段階的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ・ 年間二回から三回、「Project」が設定されており、身近なものをテーマにした複数回の活動を行うよう配慮されている。  ・ 1年生の冒頭に、復習単元である「Let's Start」が設定され、小中学校間の円滑な接続が図られるよう配慮されている。	(1) 1年：自己紹介、インタビュー、日記を書こう 2年：学校紹介、あこがれの職業、自分の意見を言おう 3年：有名人のインタビュー、日本の伝統行事を紹介しよう
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・ 世界の国々や歴史的な出来事などの題材が扱われ、他教科等との関連が図られるよう配慮されている。	(2) 1年：パズル(数学) 2年：ロボット(技術・家庭) 3年：国土面積(社会) 3年：歴史的な出来事(社会) など
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) ・ ユニバーサルデザインフォントの使用や配色の工夫などにより、視認性・可読性を高めるよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・ 巻末に、自身の学習を振り返り、目標に対する到達度を確認することができるCan-Doリストが掲載されている。 ・ 本文の音声聞くことに加えて、新出語句の発音や意味を確かめることができる二次元コードが各ページに活用できるよう工夫されている。 ・ 付録に、語句リストが掲載されており、発信活動に活用できるよう配慮されている。	

令和3年度使用

中学校・義務教育学校（後期課程）用  
教科用図書調査研究資料

# 特別の教科 道徳

那須塩原市・那須町採択地区協議会



令和3年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	道 徳
1 年	2 年	3 年	東京書籍株式会社	
道徳701 新訂 新しい道徳1	道徳801 新訂 新しい道徳2	道徳901 新訂 新しい道徳3		
大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達の段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通して、A21、B21、C42、D21の教材で構成され、視点ごとの教材数が統一されている。		(1) 内容項目の視点別教材数 中1 (35) A 7 B 7 C 14 D 7 中2 (35) A 7 B 7 C 14 D 7 中3 (35) A 7 B 7 C 14 D 7
	A 主として自分自身に関すること	A 全学年の[自主、自律、自由と責任]において、いじめに関する教材が掲載され、善悪を判断し、自分の行動に責任をもつことの重要性について考えられるよう配慮されている。		A 1年「傍観者でいいのか」、2年「あの子のランドセル」、3年「ある日の午後から」において、いじめの問題が取り上げられている。
	B 主として人との関わりに関すること	B 全学年で[思いやり、感謝]、[友情、信頼]、[相互理解、寛容]の教材が二つずつ掲載されている。また、全学年とも初めに[礼儀]の教材を扱うよう工夫されている。生徒作文やドキュメンタリーの教材が多く採用され、現実的な場面を想起しやすいよう配慮されている。		B 1年「短文投稿サイトに友達への悪口を書く」と、2年「ゴール」、3年「合格通知」で情報モラルを題材にした教材が取り上げられている。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	C 全学年で[遵法精神、公德心]、[公正公平、社会正義]、[社会参画、公共の精神]、[勤労]などで重点化が図られている。他の内容項目については、学年ごとに別の内容を重点化するなど、バランスがとられている。		C 1年「クラスの生活をよくするために」、2年「勤労から得られるものは」、3年「その子の世界、私の世界」では、二つの教材を連続して扱うよう配慮されている。	
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	D 全学年で[生命の尊さ]に関する教材が付録教材を含めて四つ掲載されており、重点化が図られている。また、全学年で[生命の尊さ]に関する教材が連続して掲載されており、それぞれ視点を多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。		D 2年では、「奇跡の一週間」と「妹に」に続いて「三つのいのちについて考える」が掲載されている。	
(2) 主体的・対話的で深い学習の実現に資する学習及び指導がよき配慮されているか。	(2) 「ACTION」では役割演技などの活動を伴う学習で登場人物の心情理解を深めたり、「PLUS」では教材の内容に関する資料を掲載することで生徒の視野を広げたりすることができるよう工夫されている。		(2) 1年「もし、あのときにもどれるのなら」、2年「不安な気持ちを整えてみよう」、3年「缶コーヒをやめよう」とり、場面をやってみよう」で、学習内容を自分のこととして捉え、考えを深められるよう工夫されている。	
(3) 多様な題材を教材とすることを配慮されているか。	(3) いじめ問題や[生命の尊さ]については、漫画や短い文章、絵などを採用した教材や、異なる立場から考えさせる教材を掲載することや、道徳的な見方や考え方が深まるよう工夫されている。		(3) 2年「いじめのない世界へ」では、絵本・漫画・短い文章の教材が順に取り上げられ、問題に対する意識が高まるよう工夫されている。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 問題解決的学習や道徳的学習の取扱いについて配慮されているか。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階を考慮し、教材が配列され、各学年で、より多様な段階の工夫が示されている。この工夫により、生徒の学習意欲が向上している。</li> </ul> <p>(2) 問題提起から解決を図る流れの中、道徳的価値を身に付けさせる工夫がされている。</p>	<p>(1) コラム「PLUS」では、1年「郷土を掘る」に「郷土に伝わる教え」の名言・格言、2年「冬の使者『マガン』」に「人間（『未来への決意』より）」の詩・歌、3年「伝えたいこと」に「第五福竜丸の受難」の資料が掲載されている。</p> <p>(2) 1年「その人が本当に望んでいること」、2年「自分を信じて生きる」とは…」、3年「その子の世界、私の世界」で工夫されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年において、いじめや命を扱った教材を複数取り上げ、重点的に考えられるよう工夫されている。本編教材、付録、校行事、生徒会活動など、関連する教材を深く考えられるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材の冒頭に教科と関連するテーマを掲載し、内容を関連させて示すマークし、他教科との関連性を示すように工夫されている。</li> <li>教材の冒頭に教科と関連するテーマを掲載し、内容を関連させて示すマークし、他教科との関連性を示すように工夫されている。</li> </ul>	<p>(1) 全学年に「いじめのない世界へ」と「いのちを考える」という大きなテーマを設け、それらについて三つの教材を組み合わせ、系統的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>(2) 1年「短文投稿サイトに友達への悪口を書く」と（技術）、2年「渡良瀬川の鉦毒」（社会）、3年「ライバルどうしの友情―スビードスケート 小平奈緒と李相花」（英語）で他教科との関連が図られている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の冒頭にある四つの視点を表す色の帯やマーク、大きな文字でのテーマの表記など、紙面のデザインがシンプルで見やすくなるよう配慮されている。</li> <li>インクルーシブ教育の観点から、教材の問いでは、言葉のまとまりを捉えやすくするため、文節で改行するとともに、学習する上で大事なことを囲み、強調し、本文では、イラストや漫画で教材が掲載されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「つぶやき」の欄などに自分の考えや意見を直接書き込むことで、話し合いやポートフォリオの材料として活用できるよう工夫されている。</li> <li>巻末には、切り取って活用できる心情円やホワイトボードが掲載され、生徒の気持ちを可視化し、話し合いの活性化につなげられるよう工夫されている。</li> <li>生徒が興味をもった内容については、巻末のQRコードを活用し、自宅でも資料映像や関連サイトが見ることができるよう工夫されている。</li> </ul>	



教科用図書の記号・番号・名称			種 目	道 徳
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
道徳702 中学道徳1 とびだそう未来へ	道徳802 中学道徳2 とびだそう未来へ	道徳902 中学道徳3 とびだそう未来へ	教育出版株式会社	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 教材の配置が、各学年の発達段階に配慮されたものとなっている。		(1) 1年ではAを多く、2年ではBを多く、3年ではCを多くと人や社会との関わりについて成長の段階に応じた教材のバランスの工夫が図られている。
	A 主として自分自身に関すること	A [希望と勇気、克己と強い意志] では、同時代を生きているスポーツ選手や技術者の経験談を通して、生徒自身の生き方と比較したり、これからの生き方について考えたりできるよう工夫がなされている。		A 1年「『どうせ無理』をなくしたい」、「夢への挑戦『パラカスー』」、2年「短所を武器とせよ」、「へこたれない心」、3年「片足のアルペンスキーヤー・三澤拓」では、各分野で活躍した人物の経験にふれることができる。
	B 主として人との関わりに関すること	B [友情、信頼] と [思いやり、感謝] の教材が多く扱われている。周囲の人々への言動への配慮や相手の立場に立って考える態度の大切さについて考えられるように配慮されている。		B いじめや差別のない社会について深く考えるユニットを設定し、複数の教材の学習を通していじめや差別について扱えるよう配慮されている。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	C [社会参画、公共の精神] と [国際理解、国際貢献] の教材が年次が上がるにつれ増えており、社会科など他教科との連携や発達段階に応じた工夫が感じられる。1年では「郷土の伝統と文化の尊重」が多く扱われており、小学校での郷土学習との連携が図りやすくなっている。		C 1年では「郷土の伝統と文化の尊重」の教材が続けて扱えるよう構成されている。伝統を重んじる態度の育成と考え方を深める工夫が見られる。	
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	D [生命の尊さ] についての教材が全学年で最多の掲載となっている。特に親子の愛情を題材にした教材が3学年で共通で扱われ、生徒が身近に考えられるように配慮されている。		D 生命の尊さについて深く考えるユニットを設定し、Cの教材との連携を行いながら考えを深められるようになっている。	
(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。	(2) 「道徳の学びを記録しよう」と「道徳の学びを振り返ろう」が巻末に設けられている。毎授業での気付きや学期ごとの感想をまとめさせることで、これまでの学習の経緯や考え方の変容を生徒も教師も見取ることができる。本科に対して主体性をもった態度の育成に資すると考えられる。		・ 1年「最高の仲間とともに」、2年「同じですあなたとわたしの大切さ」、3年「カッコイイってどういうこと?」という各スローガンを掲示し、問題提起や話し合い方法など学習の進め方を例示している。生徒にとって見通しをもった学習が行えるよう工夫がなされている。	
(3) 多様な題材を教材とすることに配慮されているか。	・ 全学年の巻頭に「道徳科で学びを深めるために」が掲載されている。イラストや具体的な活動の例示により、本科においての主な活動を順序立てて説明している。ガイダンスとして扱いやすい。友人や教師との対話的な学習に役立てることができる。		・ 全生徒が話し合えるきっかけとなり得る教材が各学年で扱われている。	
	・ 読み取りやすいイラストや漫画、新聞記事、写真資料、短文などを教材化し、考えたり、話し合ったりする時間を確保できるようにしている。		・ 1年「裏庭のできごと」、2年「わたしのせいじゃない」、3年「足袋の季節」など従来の教科書から引き続き掲載されてきた教材が掲載されている。一方で1年「歴史を変えた決断」、2年「まだ食べられるのに」、3年「平和へお願い」などSDGsに関する教材が扱われている。	
	・ これまで長らく扱われ続けている教材とSDGsに代表される現代的な課題を扱った教材が混成しており、多様な構成である。			

大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) 各学年の学校行事や発達段階に応じた教材が扱われている。興味・関心を自然と引き出せるように生徒にとって身近で意見を講じやすい教材が掲載されている。	(1) 1年では新生活への意識付け、2年では最高学年への進級のための心構えの育成、3年では最高学年としての自覚とキャリア教育と関連させたよりよい人生の設計について扱われている。時節としても向き合う必要のある題材を適切に扱うことで、主体的に考える契機となるよう工夫が施されている。
	(2) 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の取扱いについて配慮されているか。	(2) 教材の登場人物の考えに迫るためにロールプレイングを体験する「やってみよう」が設けられている。立場に立って演じることで実感が湧き、より具体的な問題解決的な学習を行うための配慮が見られる。	(2) 体験的な学習では様々な立場に自身を置いて、自分事として考えることで問題解決に迫れるように工夫が図られている。1年の教材では役割演技を交代で演じることで、他者理解が深められるように配慮されている。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・ 各学年の学校行事や発達段階に応じた教材が扱われ、生徒にとって身近で意見を講じやすい構成となっている。  ・ 内容項目の配列については、3学期制を想定した教材の配列となっている。内容項目の配列は均等を配慮した構成となっている。  ・ 複数の教材をユニットとして組み合わせる構成の工夫が図られている。「生命の尊さについて深く考えるユニット」と「いじめや差別のない社会について深く考えるユニット」という構成によって、系統的な学習を進められるよう配慮がなされている。	(1) ・ 1年では新たな生活リズムやマナーの定着に向けた教材、2年では中間学年としての心の変容を扱った教材、3年では最高学年としての行事への取組や進路決定に関連する教材が扱われている。  ・ 全学年共通して内容項目四つの視点が各学期それぞれに必ず配列され、取り扱えるようになっている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) 各教科、各特別活動、各学校行事との進行に配慮した教材の配列となっている。	(2) 特別活動との連携が図れるよう工夫されている。1年では生徒会活動、2年では部活動、3年では学校行事の題材が扱われている。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) ・ 資料の表示が白色ベースに明朝体で表記され、読みやすい。赤色や黄色など華美な色を抑えているため、落ち着いた資料に触れることができる。  ・ 1年生では字間を広く、文字のフォントも大きい。年次が上がるにつれて、字間は狭く文字のフォントは小さくなる。発達段階に応じた読みやすさへの配慮がなされている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・ 「まなびリンク」から専用ウェブサイトを利用することで、より多くの情報に触れることができる。生徒が教科書で関心をもった事柄について更に見識を深めたり、より広い視野を手に入れたりすることに役立つと思われる。  ・ 各教材ごとに設けられた「学びの道しるべ」では本教材の道徳的諸価値について生徒の考えが迫れるよう工夫がなされている。  ・ 巻末に「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」が掲載され、郷土の先人の考えにふれることができる。郷土や我が国への愛着を深める工夫が見られる。	

令和3年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	道 徳
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
道徳703 中学道徳1 きみが いちばん ひかるとき	道徳803 中学道徳2 きみが いちばん ひかるとき	道徳903 中学道徳3 きみが いちばん ひかるとき	光村図書出版株式会社	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達の段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通して、A23、B21、C35、D20の教材で構成されている。		(1) 内容項目の視点別教材数 中1(33) A6 B8 C12 D7 中2(33) A9 B6 C11 D7 中3(33) A8 B7 C12 D6 ※ 全学年とも、オリエンテーションと振り返りの時間が位置付けられている。
	A 主として自分自身に関すること	A 全学年でいじめの問題に関する教材が取り上げられている。また、他者との関わりの中で自己を見つめたり、個人の価値を尊重したりすることができるように配慮されている。		A 1年「自分で決めるって?」、2年「許せないよね」、3年「三年目の『ごめんね』」、「がんばれ おまえ」などにおいて、いじめの問題に関する教材が取り上げられている。
	B 主として人との関わりに関すること	B 全学年で[友情、信頼][相互理解、寛容]の教材が重点化されている。また、いじめ問題や共生について考えられるように配慮されている。		B 1年「私の話を聞いてね」、2年「松葉づえ」では、資料が添付されており、知識が深められるよう配慮されている。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	C 1年で[よりよい学校生活、集団生活の充実]、2年で[国際理解、国際貢献]、3年で[勤労]の教材を二つ取り上げ、重点化されている。集団や社会との関わりについて、三年間を通して理解が深まるよう配慮されている。		C 「共生」や「キャリア」などの分野に、より多くの教材を関連付けて学べるよう工夫されている。	
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	D 全学年で[生命の尊さ]の教材が三つずつ掲載されており、重点化されている。また、人間以外の生き物についても取り上げられており、多面的に考えられるよう配慮されている。		D 「銀色のシャープペンシル」や「足袋の季節」など、[よりよく生きる喜び]に関する内容も重点化を図りやすいよう配慮されている。	
(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。	(2) 全学年で巻頭の「本書で学ぶみなさんへ」を示すことで、生徒が学習に見通しをもち、対話を通して深く学べるよう工夫されている。 教材末の「考えよう」では、めあてと発問が示され、見通しをもって考えられるよう配慮されている。さらに、「見方を変えて」、「つなげよう」で多面的・多角的に考えを深められるよう工夫されている。		(2) 1年の「道徳で何を学ぶの?」「どうやって学ぶの?」に加え、2年で「なぜ学ぶの?」3年で「なぜいっしょに学ぶの?」と学びを広げられるよう工夫されている。	
(3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。	(3) 全学年で「いじめ問題」「情報モラル」「共生」「環境」「国際理解」といった現代的な課題が幅広く取り上げられている。また、それぞれに「コラム」として補助教材が添えられ、理解が深まるよう配慮されている。		(3) 「環境」では、1年「『ソーセージ』の悲しい最後」とコラム「『生物の多様性』を知ろう」のように、教材と関係のあるコラムが掲載されている。	

大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 問題解決的な学習や道徳的学習の取扱いについて配慮されているか。</p>	<p>(1) 写真・イラスト、漫画、統計などの生きた内容を取り上げ、内よるよう工夫されている。また、教材や資料の活用を深め、学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>(2) 役割演技を取り入れた授業や、教材や資料の活用を深め、学習意欲を高める工夫がされている。</p>	<p>(1) コラムでは、1年「考えの違う人々」、2年「国際理解」、3年「本意」として生かされている。また、国際理解を深める工夫がされている。</p> <p>(2) 身近に起こりうる場面を扱った教材や問題解決的な学習への配慮がされている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・ 全学年ともに、教材が三つのシーズンに分けて構成されている。また、シーズン分け、生徒の理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>・ 「いじめ」と「情報モラル」について考える教材が各学年複数配置され、系統的に考えられるよう配慮されている。</p> <p>(2) 「つなげよう」では、各教科や特別活動、学校生活等との関係が明確に示されている。</p>	<p>(1) 1年生では、シーズン1「自ら考えて」、シーズン2「広い視野で」、シーズン3「共に学び合いながら」というテーマが設けられている。</p> <p>(2) 1年「六十二枚の天気図」(理科)2年「スカイツリーにかけた夢」(社会・数学・美術)3年「先人の言葉『論語』」(国語)などで他教科との関連が図られている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) ・ 漫画やイラスト、写真を扱った教材が各学年に設定されており、親しみやすく、場面がイメージしやすいよう配慮されている。</p> <p>・ 各教材のテーマやタイトルで、色と形を組み合わせることで、四つの視点を区別しやすいよう工夫されている。</p> <p>(2) ・ 巻末の「学びの記録」では、シーズンごとに学習したことを記入させることで、1年間を通した振り返りができるよう工夫されている。</p> <p>・ 1年「橋の上のおおかみ」、2年「泣いた赤おに」、3年「手品師」など、小学校で定番の教材が掲載されており、小学校での学習との連携にも配慮されている。</p> <p>・ 各教材において、「見方を変えて」を活用することによって、多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。</p>	

教科用図書の記号・番号・名称			種目	道徳
1年	2年	3年	発行者名	
道徳704 中学道徳 あすを生きる1 道徳705 中学道徳 あすを生きる1 道徳ノート	道徳804 中学道徳 あすを生きる2 道徳805 中学道徳 あすを生きる2 道徳ノート	道徳904 中学道徳 あすを生きる3 道徳905 中学道徳 あすを生きる3 道徳ノート	日本文教出版株式会社	
大観 点	小観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達の段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通して、A18、B20、C46、D21の教材で構成されている。	(1) 内容項目の視点別教材数 中1 (35) A 6 B 7 C 15 D 7 中2 (35) A 6 B 7 C 15 D 7 中3 (35) A 6 B 6 C 16 D 7	
	A 主として自分自身に関すること	A [希望と勇気、克己と強い意志]において有名なスポーツ選手や漫画家の実話を取り上げられており、失敗や困難に恐れず、希望と勇気をもって立ち向かうことの大切さに気付くように配慮されている。	A 1年「サッカー漫画を描きたい」、2年「初心」、3年「銀メダルから得たもの」で実話が取り上げられている。	
	B 主として人との関わりに関すること	B 全学年で「思いやり、感謝」「相互理解、感謝」の教材が複数取り上げられ、多様な人間関係の理解が深まるよう配慮されている。特に1、2年生では「友情、信頼」の教材が三つずつ重点化されている。	B 1年「近くにいた友」、2年「五月の風—ミカ—」、3年「違うんだよ、健司」では、いじめについて考えを深める付属資料が掲載されている。	
C 主として集団や社会との関わりに関すること	C 全学年で「遵法精神」「国際理解」「社会参画、公共の精神」の視点において、複数教材を掲載することによって、社会に開かれた教育が実現されている。また、ユニークな教材が取り上げられている。	C 1年の3学期には、職場体験教材が学年間の学習につなげられるよう位置づけられている。		
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	D 全学年で「生命の尊さ」に関する教材が三つずつ取り上げられ、生命の連続性や有限性など、自他の生命について配慮されている。	D 3年では「国際理解、国際貢献」『命のトランジットビザ』に続いて「生命の尊さ」が掲載され、関連が図られている。		
(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。	(2) 各教材の「自分に+1」で授業を振り返り、道徳的価値を理解して自分の生き方に生かしていけるよう配慮されている。 ・別冊「道徳ノート」で、自分自身や友達の考えを記録でき、多様な見方を共有して、様々な価値観を考察し、設けられるよう配慮されている。	(2) 別冊「道徳ノート」を活用することで学習を振り返り、自分自身が3年間の成長を振り返ることができるよう配慮されている。		
(3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。	(3) いじめの問題について、内容項目の視点A、B、Cそれぞれで様々な内容の教材が取り上げられる。幅広く考えられるよう工夫されている。また、ついでに、異なる立場に立つよう、教材の配置が工夫されている。	(3) 2年「五月の風—カナ—」(A)、「五月の風—ミカ—」(B)、「リスベクトアザズ」(C)などのように、多様な視点からいじめの問題について考えられるよう工夫されている。		

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。	(1) ・身近な生活場面や活躍中のスポーツ選手などの教材など、多岐に渡るよう工夫されている。 ・ユニット「より良い社会と私たち」は、「社会への参画」「将来の生き方」の二つの内容があり、生徒が発達の段階に応じた工夫されている。	(1) 1年高橋陽一さん、2年井上康生さん、3年山中伸弥さんのメッセージで夢の実現に向かう努力の大切さ、「風に立つライオン」では誇りある生き方について生徒の関心が高まっている。
	(2) 問題解決的な学習や道徳的学習の取扱いについて配慮されているか。	(2) 「学習の進め方」に示された活動を「学習を深めるヒント」でサポートするよう工夫されている。	(2) 2年「『自分』てなんだろう」では、付箋を使って話し合いを深める方法が取り上げられている。
3 組織・配列等について	(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。	(1) ・重要なテーマについては複数の教材のまとまりとして配列することにより、より深い学びとなるよう工夫されている。 ・「『いじめ』と向き合う」「より良い社会と私たち」というテーマが全学年に掲載され、それぞれの内容を系統的に扱うことができるよう配慮されている。	(1) 2年の「『いじめ』と向き合う①」では三つの教材と二つの「プラットフォーム」が一つにまとめられ、人権課題についても関連が図られている。
	(2) 他教科等との関連について配慮されているか。	(2) ・他教科、特別活動、総合的な学習の時間などと連携しやすく、内容や実施時期を考慮した配列で教材が取り上げられている。 ・巻末の内容項目別教材一覧には、主題名、テーマ、他教科等との関連が示されている。	(2) 2年では職場体験学習に関連した教材「『自分』てなんだろう」「小さな工場の大きな仕事」「体験する建築家坂茂」「行動する道徳科」の授業が実施されている。
4 上記以外の特徴点について	(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(1) ・題字の下に、資料に関係する人物の名前と顔をイラストや写真で表示することで視覚的に内容が把握できるよう配慮されている。 ・四つの視点をイメージカラーやマークで表すことで、色と形で見分けられるよう配慮されている。	
	(2) その他の特徴点は何か。	(2) ・道徳ノートは、学習の流れに沿った発問を書き込めたり、ドットが設けられることで文字以外の表現方法にも対応したりできるよう工夫されている。また、巻末に保護者記入欄があり、家庭との連携が図れるよう配慮されている。 ・目次にQRコードを表示し、インターネット上に用意された教科書コンテンツを閲覧することで、興味・関心をもったり、家庭での自宅学習をしたりできるよう配慮されている。	

令和3年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	道 徳
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
道徳706 新・中学生の道徳 明日への扉 1	道徳806 新・中学生の道徳 明日への扉 2	道徳906 新・中学生の道徳 明日への扉 3	株式会社学研教育みらい	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達の段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通して、A24、B22、C37、D22の教材で構成されている。また、視点ごとにまとめて教材が構成されている。		(1) 内容項目の視点別教材数 中1 (35) A8 B7 C13 D7 中2 (35) A8 B7 C12 D8 中3 (35) A8 B8 C12 D7
	A 主として自分自身に関すること	A 全学年において、「向上心、個性の伸長」や「希望と勇気、国旗と強い意志」において、キャリア教育に関する教材が取り上げられている。多様な人々の生き方から、自分の生き方についての考えを深められるよう関連が図られている。		A 1年「イチローの軌跡」「認められたクラブ」、2年「ジャッジとチャレンジ」、3年「スポーツの力」などにおいて、キャリア教育に関する教材が取り上げられている。
	B 主として人との関わりに関すること	B 全学年で「思いやり、感謝」「友情、信頼」の教材が複数取り上げられ、重点化されている。多様な資料を活用し、繰り返しの学習による理解が深められるよう配慮されている。また、全学年でいじめに関する教材が取り上げられている。		B 3年「電車の中で」では、4コマ漫画や新聞投稿を扱うことで、様々な年代の考えと生徒の考えを比較できるように配慮されている。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	C 全学年で「遵法精神、公德心」、2年では「社会参画、公共の精神」、3年では「国際理解、国際貢献」などに関する教材が複数取り上げられ、集団や社会との関わりについて、補助的な資料とともに重点的に学べるよう配慮されている。		C 2年「ヨコスカネイビーパーカー」では「クロネコアツプ」、「未来から来たおじいさん」が掲載され、内容について理解が深められるよう配慮されている。	
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	D 全学年で「生命の尊さ」についての教材が3つずつ取り上げられており、重点化されている。また、人間以外の生き物の生命についても取り上げ、様々な観点で生命の尊さを考えられるよう工夫されている。		D 3年「優介の決意」では、臓器提供や脳死などを漫画で表現すること、内容が捉えやすくなるよう工夫されている。	
(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資するよう学習及び指導が配慮されているか。	(2) 教材ごとに設けられた「メモ欄」を活用しながら、「深めよう」で自分の考えを多面的・多角的に見直して、段階的に考えを深めていくことができるよう工夫されている。巻頭に道徳の学習の進め方のオリエンテーションが掲載され、生徒は主体的に学習を進められるよう配慮されている。		(2) 1年「掃除の神様が教えてくれたこと」、2年「鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅」、3年「余命ゼロ 命のメッセー」などで、「メモ欄」や「深めよう」の活用が図られている。	
(3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。	(3) 現場の有名人や第一線の研究者、歴史上の人物などが、どのようにエピソードや資料などが、多面的・多角的に扱われているか、1つのテーマに対して、複数の教材を連続して取り上げること、学びが深まるよう工夫されている。		(3) 1年「イチローの軌跡」、「認められたクラブ」のように、全学年で教材と資料の関連が図られている。	

大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 問の題解の決的学的な学習や道的な配慮がなされているか。</p>	<p>(1) ・ 各教材名の下にキーフレーズを入れ、たり、多くの挿絵や写真、図やグラフなど、多様な素材で生徒の理解を促し、興味・関心を高めるよう配慮されている。</p> <p>・ 特設ページ「クローズアップ」では、「生命の尊重」「自己肯定」「メンタル」を取り上げ、生活に活用できるようにしている。</p> <p>(2) ウェビング、題こ</p>	<p>(1) ・ 1年「エルトゥールル号の遭難」では、場面は大丈夫か」「エルトゥールル号の遭難」では、場面は大丈夫か」「エルトゥールル号の遭難」では、場面は大丈夫か」</p> <p>・ 1年「あなたへの質問」(自己肯定感)、2年「怒りの温度計」(アンガーマネジメント)、3年「答えは一つじゃない」(メンタルトレーニング)が取り上げられている。</p> <p>(2) 1年「二つの心」対話の場、2年「二つの心」対話の場、3年「二つの心」対話の場</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 学年ごとにテーマを設定し、特定の内容項目を重点的に取り上げ、よりよい生き方について考えるよう配慮されている。</p> <p>(2) 現代的な課題を身近な問題として捉え、教材が他教科との関連を工夫されている。</p>	<p>(1) 3年〔国際理解・国際貢献〕では、「国際協力師山本敏晴」「もっとうたい」「杉原千畝の選択」が取り上げられている。</p> <p>(2) 1年「日曜日の朝に(保健体育)」、2年「未来に響け“復興輪太鼓”」(音楽)、3年「忘れられないご馳走」(技術・家庭)において、他教科との関連や現代的課題と関連付けられている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) ・ A B版のサイズであり、写真や挿絵、グラフ等が大きく掲載され、教材の内容が理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>・ 生徒が教材に親しみをもてるよう、カラーユニバーサルデザインについて配慮されている。</p> <p>(2) ・ 主題名を表示しないことにより、生徒が多面的・多角的に考え、主体的に学習できるように配慮されている。</p> <p>・ 「命の教育」を重点テーマとしている。(教材数は、1年が5、2年が7、3年が5)</p> <p>・ いじめ防止に関する教材が重質している。(教材数は、1年が5、2年が6、3年が6)</p> <p>・ 年が6、マが明確に示されており、ユニットを意識した年間計画を作成するこ</p> <p>・ 持続可能な社会の実現など、現代的な課題への関連に配慮されている。</p> <p>・ 示された発問において、登場人物の心情だけでなく、テーマ発問なども取り入れるなど、多面的・多角的に価値について考えることができる工夫がある。</p>	



教科用図書の記号・番号・名称			種 目	道 徳
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
道徳707 中学生の道徳 自分を見つめる1 道徳708 中学生の道徳ノート 自分を見つめる1	道徳807 中学生の道徳 自分を考える2 道徳808 中学生の道徳ノート 自分を考える2	道徳907 中学生の道徳 自分をのぼす3 道徳908 中学生の道徳ノート 自分をのぼす3	廣濟堂あかつき株式会社	
大 観 点	調 査 の 結 果			
	小 観 点	小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通して、A24, B21, C36, D24の教材で構成され、各視点的教材数が統一されている。		(1) 内容項目の視点別教材数 中1 (35) A8 B7 C12 D8 中2 (35) A8 B7 C12 D8 中3 (35) A8 B7 C12 D8
	A 主として自分自身に関すること	A 全学年で[自主、自律、自由と責任]において三つの教材が取り上げられており、重点化されている。自分で考えて誠実に実行し、その結果に責任をもつこと重点性について学べるよう関連が図られている。		A 1年「この人生の主人公」「裏庭での出来事」「ネット将棋」、2年「ジョイス」「小さなこと」「お前のカワウソがさびしがっているぞ」、3年「リクエスト」「ピヨ子」「カントとルソー」と各学年三つずつ取り上げられている。
	B 主として人との関わりに関すること	B 全学年で[思いやり、感謝]の教材が三つずつ掲載され、重点化されている。また、[友情、信頼]の教材についても二つずつ取り上げられており、望ましい人間関係について考えられるよう配慮されている。		B 1年「アイツ」、2年「アイツとバレンタインデー」、3年「アイツの進路選択」では、同一主人公を教材とすることで、生徒が自分自身の悩みや葛藤と比較しやすいよう配慮されている。
C 主として集団や社会との関わりに関すること	C 全学年で[公正公平、社会主義]、[遵奉精神、公德心]、[家族愛、家族生活の充実]の教材を二つずつ掲載することで重点化が図られており、集団や社会との関わりについて、三年間を通して理解が深まるよう配慮されている。		C 1年「してもよい『いじめ』などない」「母にあいたい」、2年「あなたに逢えてよかった」、3年「希望新聞」というコラムが掲載され、教材との関連が図られている。	
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	D 各学年で[生命の尊さ]、[よりよく生きる喜び]の二つの項目について教材が三つずつ取り上げられており、重点化されている。また、[よりよく生きる喜び]の項目では、人としての生き方について深く考えられる教材が多く取り上げられている。		D 3年「ひまわり」では、[よりよく生きる喜び]をテーマとするとともに、「生命の尊さ」との関連も図られている。	
(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。	(2) ・ 別冊の「中学生の道徳ノート」に本冊の項目と関連付けた文章を取り上げ、考えを深められるよう工夫されている。  ・ 各教材に「考える・話し合う」が示され、「学習の手がかり」や「考えを広げる・深める」で、生徒が自分の考えをもち、他者の意見に触れながら学びを深めていけるよう工夫されている。		(2) 3年本冊の「母と子のロードレース」に対し、別冊「道徳ノート」で「家族を愛し、充実した家庭生活を築く」を取り上げている。	
(3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。	(3) 現代的な課題に関する教材について、それぞれ異なる立場での主張を取り上げ、多様な見方や考え方ができるよう配慮されている。		(3) 1年「国際協力ってどういうこと?」、2年「野生の猛禽を守るために」、3年「ベビーカー論争」などで配慮されている。	

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 問題解決的な学習や道徳的行動に関する体験的な学習の取扱について考慮されているか。</p>	<p>(1) ・ 生徒にとって身近に感じられる資料や有名人の逸話を多く掲載することで、生徒の興味・関心を高め、自らを見つめ直すことができるよう配慮されている。</p> <p>・ 本冊と別冊の二分冊構成で、別冊にグラフやアンケート結果など様々な資料を掲載し、理解を促すよう配慮されている。</p> <p>(2) 教材最後に示されている「考える・話し合う」では、問題解決的な学習で考えを深められるよう配慮されている。</p>	<p>(1) ・ 1年「人に迷惑をかけなければいいのか?」、2年「『キング』と呼ばれる理由-三浦知良-」、3年「ぶれない心-松井秀喜-」が取り上げられている。</p> <p>・ 別冊の1年「郷土の伝統や文化を大切にし、発展に努める」、2年「目標の達成を目指し、着実にやり遂げる」、3年「度を過ぎさず、調和のある生活をする」では、全国学力・学習状況調査が取り上げられている。</p> <p>(2) 1年「国際協力ってどういうこと?」、2年「いつでも・どこでも・誰とでも」、3年「ピヨ子」では、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・ 教材と関連した学びを深める特集「thinking」を効果的に配列し、より深い学びとなるよう配慮されている。</p> <p>・ 全学年を通し、「いじめ防止」や「情報社会での生き方」に重点を置き、発達の段階に応じて系統的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>(2) ・ 教材と別冊「中学生の道徳ノート」を活用することを通して、他の教材や教育活動との関連が図れるよう配慮されている。</p> <p>・ 二次元コードが掲載されており、いくつかの教材では、デジタルコンテンツにアクセスすることで、発展的に学習できるよう配慮されている。</p>	<p>(1) 2年thinking「命の選択」では、「人生の最終段階における医療に関する意識調査」の結果がグラフで示されており、自分の考えと比較できるように配慮されている。</p> <p>(2) 3年では、「招集通知-あなたが裁判員になるとき-」別冊「社会社会をつくる」、動画資料「裁判員裁判」で関連が図られている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) ・ 1年生の教科書は本文の文字が大きく、小学校の学習から抵抗なく移行できるよう工夫されている。</p> <p>・ 四つの視点を色の違いだけでなく点の数で示し、色覚の違いに対応できるよう配慮されている。</p> <p>(2) ・ 二分冊構成になっており、各学校の実態に応じて、年間指導計画を工夫したり多様な指導方法を取り入れたりできるよう配慮されている。</p> <p>・ 各教材の最後に、教材に関係する著名人の名言が掲載され、生徒の興味関心を高めるよう配慮されている。</p>	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	道 徳
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
道徳709 道徳 中学校1 生き方から学ぶ	道徳809 道徳 中学校2 生き方を見つめる	道徳909 道徳 中学校3 生き方を創造する	日本教科書株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。	(1) 学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達の段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通して、A20、B23、C47、D21の教材で構成されている。また、視点ごとにまとめて教材が構成されている。		(1) 内容項目の視点別教材数 中1(37) A6 B8 C17 D6 中2(37) A7 B8 C15 D7 中3(37) A7 B7 C15 D8
	A 主として自分自身に関すること	A〔自主、自立、自由と責任〕、〔向上心、個性の伸長〕において、物事を多面的・多角的に考えることの重要性に気づき、自らの生き方について関心が高まろう、3年間で5つの教材を取り上げ、関連を図っている。		A〔自主、自立、自由と責任〕では、1年「銀色のシャープペンシル」、2年「14歳の責任」、「パトリオター」の3年「スッチ」が取り上げられている。
	B 主として人との関わりに関すること	B 全学年で〔友情、信頼〕の教材を3つずつ取り上げ重点化し、繰り返し扱うことで理解を深めていけるよう配慮されている。また、物語が多く、登場人物の行動や考え方を想起しやすいよう配慮されている。		B 1年では「いつもいっしょの」に「ちゅうたがくれたもの」生徒が想像しやすい場面設定が対比できるよう配慮されている。
	C 主として集団や社会との関わりに関すること	C 全学年で、集団や社会との関りについてバランスよく学べるよう工夫されている。特に1年では、〔遵法精神、公德心〕、〔公正、公平、社会正義〕、〔社会参画、公共精神〕に関する教材がそれぞれ3つずつ取り上げられ、重点的に学べるよう配慮されている。		C 1年の〔遵法精神、公德心〕「公正、公平、社会正義」に関する3つの教材では、「書いて読みよう」「もっとうい」などの関連したコラムが掲載されており、理解が深められるよう工夫されている。
	D 主として生命や自然、崇高なものに関わりに関すること	D 3年間を通して〔生命の尊さ〕についての教材が7つ、〔よりよく生きる喜び〕についての教材が8つとりあげられている。特に、2年、3年では、〔よりよくいきる喜び〕についての教材が3つずつ取り上げられ、多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。		D 3年「天地と共に」は、目標や進路と関連付けられており、自分のこととして考えられている。
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。	(2) 文字情報のない教材によって、生徒が自由な発想で考え、意見を交わすことができるよう配慮されている。 ・見開きの「道徳科って何の学ぶの？」のページでは、生徒が学習の見通しをもち、主体的に学べるよう工夫されている。		(2) 1年「二つの足跡」「ペーパーボード」では、文字情報のない教材が取り上げられている。
	(3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。	(3) 現場の教師が執筆した独自教材や、先人・著名人の生き方から学ぶ人物教材、地域教材など、多彩な教材が取り上げられている。		(3) 人物を扱った教材では、国枝慎吾・吉田松山・松井秀喜・加納治五郎・山中伸弥・上杉鷹山などが取り上げられている。

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 問題解決的な学習や道的徳的学習の取扱いに配慮されているか。</p>	<p>(1) ・各学年の発達の段階に応じて、「書いてみよう」「話してみよう」が設定され、学校行事やキャリア教育との関連が図られるよう配慮されている。</p> <p>・話題となった人物の実話が全学年で取り上げられており、生徒の興味・関心を引くよう工夫されている。</p> <p>(2) 性の多様な内容を、現代社会で生きている人々の生活を取り上げる工夫されている。</p>	<p>(1) ・「書いてみよう」では、1年「私のいいところはどこ？」「2年「自分を律する五つの決めごと」などがあり、発達の段階に応じて自分を見つめられるよう配慮されている。</p> <p>・1年「オレは最強だ！」や、3年「ジャマナカめ」など話題性のある人物について取り上げたり、2年「あなたが見えているもの」では、挿絵などを活用したりと工夫されている。</p> <p>(2) 2年「だから歌い続ける」「友達の詩」において、性的マイノリティ(LGBT)を取り上げている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全学年で「リョウとマキ」という同一主人公の教材を扱うことで、学年間のつながりを意識し、生徒が自分の悩みや葛藤と比較したり重ねたりすることができるよう配慮されている。</p> <p>(2) ・各学年の教材は、他教科等と関連し、特別活動、道徳教育の統合的な取り組みが図られている。</p>	<p>(1) 「リョウとマキ」と一緒に年を重ねることで、直面する悩みや葛藤について考えられるよう配慮されている。</p> <p>(2) キャリア教育についての教材、1年「パーソナリティ」、2年「ワン・ステップ」、3年「ライオン」で、道徳的問いと向き合っていく。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(2) その他の特徴点は何か。</p>	<p>(1) ・写真やイラストなどが大きく掲載されており、教材の内容をイメージしやすいよう配慮されている。</p> <p>・教材は4つの視点に分けられて配列され、写真と視点名でデザインされた仕切りページを設けることで、境目が明確になるよう配慮されている。</p> <p>(2) ・4つの視点ごとの配列になっているため、学校の実態に応じてテーマを設定したり年間計画を立てるときの配列の工夫がしやすい。</p> <p>・「リョウとマキ」のように、共通の教材名で3年間の学びを関連付ける工夫がされている。</p> <p>・「ペーパーボード」(「アライバル」絵本)など、話題性のある教材の取り扱いがある。</p> <p>・2年「だから歌い続ける」のように性の多様性について考えることができる教材や、環境問題・情報モラルなど、現代的な課題の取扱いに工夫がある。</p> <p>・示された発問は、登場人物の思いや心情を問う発問を中心に、多面的・多角的には考えることができるよう工夫されている。</p>	

